

施策評価調書(1)

評価対象年度	令和2年度
--------	-------

めざす姿	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”
施策名	1 健康を育むまちづくり
施策関係課	(保健部)保健総務課・管理課・疾病対策課・地域保健センター・食品衛生課・衛生検査課・国民健康保険課・高齢者保険事業室・看護専門学校

●施策の基本方針(目標)

市民の健康への関心を高めて自発的な健康づくりと疾病予防を促し、それを支える保健・医療体制を充実させることで市民の“健康寿命”を伸ばします。

●目標指標								
指標 ①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)			単位	%	指標の種別	成果
	目標値	現状値を上回る(令和2年度)		現状値	38.4(平成27年度)		達成状況	\
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)	
	実績値	44.3	46.9	46.7	45.7		47.1	
	指標 ②	名称	川口市民の65歳健康寿命(男性)			単位	年	指標の種別
目標値		17.30(令和2年度)		現状値	16.23(平成25年度)		達成状況	\
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)	
実績値		16.51(平成27年度)	16.65(平成28年度)	16.83(平成29年度)	16.90(平成30年度)		16.96(令和元年度)	
指標 ③		名称	川口市民の65歳健康寿命(女性)			単位	年	指標の種別
	目標値	20.00(令和2年度)		現状値	19.29(平成25年度)		達成状況	\
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)	
	実績値	19.58(平成27年度)	19.75(平成28年度)	19.85(平成29年度)	20.00(平成30年度)		20.16(令和元年度)	
	指標 ④	名称				単位		指標の種別
目標値				現状値			達成状況	\
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)	
実績値								
指標 ⑤		名称				単位		指標の種別
	目標値			現状値			達成状況	\
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)	
	実績値							

	(単位:千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度決算額	令和元年度決算額	令和2年度決算額
事業額	事業費	4,256,606	5,079,072	4,604,735	5,016,068	5,443,493
	概算人件費	860,016	940,602	1,105,131	1,102,682	1,086,487
	総事業費	5,116,622	6,019,674	5,709,866	6,118,750	6,529,980

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 54	単位施策② 52	単位施策③ 51	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B	52.3			

施策評価調書(2)

評価対象年度 令和2年度

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

① 保健・予防活動の推進									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度の総評価	令和3年度の実施方向性
			事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)	事業費(決算額)		
11100101	保健所準備事業 (平成29年度をもって完了)	保健部 管理課	116,697 164,000	922,445 280,800	— —	— —	— —	—	—
11100111	衛生関連免許事業	保健部 管理課	— —	— —	23 3,950	1 3,950	45 3,950	49	現状維持 で実施
11100121	感染症予防対策事業	保健部 疾病対策課	— —	— —	17,658 86,900	14,201 86,900	377,021 102,700	60	拡充して実 施
11100132	不妊治療支援事業	保健部 地域保健センター	— —	— —	148,908 11,850	152,676 11,850	184,642 11,850	60	拡充して実 施
11100204	健康推進事業	保健部 保健総務課	2,221 328	770 312	7,498 9,480	5,748 316	1,399 316	46	現状維持 で実施
11100301	健康フェスティバル事業	保健部 保健総務課	2,472 5,330	2,361 5,070	2,731 5,135	2,165 5,135	51 5,135	44	現状維持 で実施
11100401	食生活改善推進事業	保健部 保健総務課	1,450 5,658	1,229 4,914	1,249 4,977	1,032 4,977	356 4,977	50	現状維持 で実施
11100501	その他保健衛生総務費	保健部 保健総務課	1,667 2,706	1,677 2,730	1,440 1,975	40,991 1,975	1,312 1,975	56	現状維持 で実施
11100601	じん肺健康診断費 補助事業	保健部 保健総務課	2,558 410	2,500 390	2,385 395	2,253 395	2,146 395	56	現状維持 で実施
11100801	予防接種事業	保健部 地域保健センター	1,517,208 8,200	1,532,966 7,800	1,576,983 15,800	1,594,903 15,800	1,834,473 15,800	58	拡充して実 施
11100811	専門職員等研修費	保健部 管理課	— —	— —	2,477 2,370	2,224 2,370	311 2,370	52	現状維持 で実施
11100821	肝炎治療費助成事業	保健部 疾病対策課	— —	— —	112 7,900	164 7,900	155 15,800	60	現状維持 で実施
11100901	母子健康手帳交付・ 妊婦健康診査等事業	保健部 地域保健センター	469,021 7,380	453,971 7,020	462,580 7,110	453,416 7,110	473,951 7,110	58	現状維持 で実施
11101001	乳幼児健康診査・ 健康相談事業	保健部 地域保健センター	100,479 106,600	97,909 101,400	96,075 102,700	90,862 102,700	102,213 102,700	56	現状維持 で実施
11101201	がん検診事業	保健部 地域保健センター	548,855 31,160	514,441 29,640	689,979 30,020	724,852 30,020	728,458 30,020	56	現状維持 で実施
11101301	健康診査事業	保健部 地域保健センター	81,017 10,660	73,176 10,140	90,508 10,270	77,178 10,270	70,102 10,270	56	拡充して実 施
11101401	成人健康づくり事業	保健部 地域保健センター	2,401 50,840	1,716 48,360	1,866 48,980	2,017 48,980	1,192 48,980	50	拡充して実 施
11101501	精神保健福祉支援事業	保健部 疾病対策課	1,240 36,900	953 35,100	4,464 63,200	21,272 71,100	15,766 79,000	58	現状維持 で実施
11101701	食品衛生事業	保健部 食品衛生課	— —	— —	4,360 98,750	4,096 94,800	1,881 102,700	54	現状維持 で実施
11101801	食肉衛生検査事業	保健部 食品衛生課	— —	— —	11,750 47,400	14,734 55,300	12,819 47,400	53	現状維持 で実施
11102001	衛生検査事業	保健部 衛生検査課	— —	— —	67,162 71,100	62,267 71,100	110,665 71,100	54	拡充して実 施

単位施策名		② 医療体制の充実							
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (決算額)	令和 2年度 の 総評価	令和 3年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
11200011	医療施設指導等事業	保健部 管理課	—	—	8,628	1,866	1,878	56	現状維持 で実施
			—	—	15,800	15,800	15,800		
11200103	小児夜間等救急診療 事業	保健部 保健総務課	83,103	83,154	83,609	190,507	148,256	50	現状維持 で実施
			5,740	5,460	7,110	9,480	9,480		
11200201	在宅当番医制事業	保健部 保健総務課	22,929	22,929	23,219	25,040	23,309	50	現状維持 で実施
			1,476	1,404	1,422	1,422	1,422		
11200301	在宅歯科診療事業	保健部 保健総務課	10,929	10,784	11,001	11,942	11,131	40	現状維持 で実施
			1,476	1,404	1,422	1,422	1,422		
11200401	病院群輪番制運営事業	保健部 保健総務課	31,044	31,044	31,116	31,400	31,044	50	現状維持 で実施
			2,870	2,730	2,765	2,765	2,765		
11200501	外国人未払医療費対策 事業	保健部 保健総務課	1,270	—	1,085	70	80	56	現状維持 で実施
			410	—	395	395	395		
11200601	献血推進事業	保健部 管理課	2,462	2,242	2,436	2,271	2,190	48	現状維持 で実施
			820	780	790	790	790		
11200701	骨髄移植ドナー支援 事業	保健部 保健総務課	560	420	140	1,120	280	42	現状維持 で実施
			738	702	316	316	316		
11200801	医師会補助事業	保健部 保健総務課	2,547	2,547	2,547	2,547	2,547	56	現状維持 で実施
			410	390	395	395	395		
11200901	公的医療機関運営費 補助事業	保健部 保健総務課	124,508	124,508	132,217	133,639	133,871	50	現状維持 で実施
			410	390	395	395	395		
11201001	済生会川口看護専門 学校補助事業	保健部 保健総務課	4,270	4,270	4,270	4,270	4,270	56	現状維持 で実施
			410	390	395	395	395		
11201101	済生会川口総合病院新館 建設等整備費助成事業	保健部 保健総務課	9,897	9,741	9,797	9,359	8,620	56	現状維持 で実施
			492	468	395	395	395		
11201151	公的医療機関高額医療 機器整備費補助事業 (令和2年度休止)	保健部 保健総務課	—	88,000	—	150,000	—	—	—
			—	0	—	395	—		
11201161	医療安全相談事業	保健部 管理課	—	—	0	25	10	44	現状維持 で実施
			—	—	2,370	2,370	2,370		
11201171	薬事関連施設指導等 事業	保健部 管理課	—	—	50	83	83	56	現状維持 で実施
			—	—	15,800	15,800	15,800		
11201181	難病支援事業	保健部 疾病対策課	—	—	8,054	9,248	1,493	56	現状維持 で実施
			—	—	47,400	47,400	47,400		
11201201	奨学金貸付事業	保健部 看護専門学校	22,350	20,310	19,260	21,870	22,440	58	現状維持 で実施
			8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
11201301	看護学科運営費	保健部 看護専門学校	18,699	18,968	19,251	18,518	19,917	58	効率化して 実施
			82,000	85,800	94,800	86,900	94,800		
11201401	第2看護学科運営費 (令和元年度をもって廃止)	保健部 看護専門学校	11,350	11,252	6,705	2,347	—	—	—
			65,600	62,400	55,300	55,300	—		

単位施策名 ③ 医療保険制度の充実									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (決算額)	令和2年度 事業費 (決算額)	令和 2年度 の 総評価	令和 3年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
11300101	被保険者証発送事務費	保健部	54,910	53,129	52,186	51,142	52,359	54	効率化して 実施
		国民健康保険課	69,700	67,080	67,940	67,940	67,940		
11300201	国保給付事務費	保健部	7,996	14,909	75,600	73,773	70,959	50	効率化して 実施
		国民健康保険課	8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
11300301	レセプト点検事業費 (平成30年度から国保給付事務費に統 合)	保健部	4,637	6,069	—	—	—	—	—
		国民健康保険課	2,460	2,340	—	—	—		
11300401	共同電算処理事業費 (平成30年度から国保給付事務費に統 合)	保健部	64,303	60,233	—	—	—	—	—
		国民健康保険課	8,200	7,800	—	—	—		
11300501	賦課事務経費	保健部	76,759	95,305	95,591	94,175	105,023	54	現状維持 で実施
		国民健康保険課	85,198	81,042	82,081	82,081	82,081		
11300601	相談員事業費 (平成30年度から取納率向上特別対策 事業費に統合)	保健部	42,067	22,940	—	—	—	—	—
		国民健康保険課	20,910	9,750	—	—	—		
11300701	国民健康保険運営 協議会経費	保健部	495	466	470	475	578	56	現状維持 で実施
		国民健康保険課	2,460	2,340	2,370	2,370	2,370		
11300801	保健衛生普及事業	保健部	18,506	20,526	20,650	20,461	19,028	50	現状維持 で実施
		国民健康保険課	8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
11300901	後発医薬品利用促進 事業	保健部	409	668	409	337	332	52	現状維持 で実施
		国民健康保険課	8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
11301001	疾病予防事業	保健部	244,840	238,438	214,347	210,074	153,865	46	現状維持 で実施
		国民健康保険課	8,200	7,800	7,900	7,900	7,900		
11301101	特定健康診査事業費	保健部	278,678	260,294	283,369	356,974	288,502	54	拡充して実 施
		国民健康保険課	8,364	7,956	8,058	8,058	8,058		
11301201	特定保健指導事業費	保健部	33,041	14,497	17,847	18,754	19,234	52	現状維持 で実施
		国民健康保険課	7,380	7,020	7,110	7,110	7,110		
11301301	健康診査事業	保健部	108,109	111,963	137,088	149,148	164,006	52	現状維持 で実施
		高齢者保険事業室	2,460	2,340	2,370	2,370	2,370		
11301401	人間ドック検診料助成 事業	保健部	99,298	113,821	115,419	125,895	95,641	48	現状維持 で実施
		高齢者保険事業室	2,460	2,340	2,370	2,370	2,370		
11301501	後期高齢者医療保険料 徴収関係経費	保健部	29,354	29,531	38,166	31,686	143,589	48	効率化して 実施
		高齢者保険事業室	16,400	15,600	15,800	15,800	15,800		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11100111	事業名称	衛生関連免許事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	管理課	問い合わせ先	258-1110(＃74-5724)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	医師法、歯科医師法、保健師助産師看護師法、栄養士法、調理師法等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	衛生免許申請者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	衛生免許事業の適正な運営を図る。	1 厚生労働大臣免許に関する事務 申請書の受付、免許証の交付 2 知事免許に関する事務 申請書の受付、手数料の徴収、免許証の作成、免許証の交付	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・厚生労働大臣免許(新規417件、書換等285件) ・知事免許(新規241件、書換等85件)	項目	実績 単位
		看護師免許新規申請	188 件
		調理師免許新規申請	134 件
事業の成果【定性的評価】	衛生免許制度の効率的な運営に資することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	厚生労働大臣免許申請処理件数			指標・目標値の説明(算定式)	申請に応じて処理する事務であるため、目標値は設定しない。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	727	797	702						
指標②	名称	知事免許申請処理件数			指標・目標値の説明(算定式)	申請に応じて処理する事務であるため、目標値は設定しない。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	371	284	326						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	06目	002細目	04細々目	衛生関連免許事業				
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度				
予算額(A)	58	58		58		58	58				
決算額(B)=(C)+(D)	23	1		45							
財源※	特定財源(C)	23	1		45		58				
	一般財源(D)	0	0		0		0				
概算人件費(E)	3,950	3,950		3,950		3,950	3,950				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,973	3,951		3,995		4,008	4,008				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
49 /60	事務手順を免許権者である国や県が厳密に規定していることから、本市独自の改善策の採用は困難である。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11100121	事業名称	感染症予防対策事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	疾病対策課	問い合わせ先 266-5557(#74-5741)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に規定されている一類から五類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症の患者又は感染が疑われる患者及び医療機関	同左及びその他市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	感染症の発生状況を把握し、まん延及び拡大防止を図り、市民の健康を守る。	<ul style="list-style-type: none"> 公費負担医療費の給付 感染症患者調査、訪問、相談 感染症患者の移送 感染症発生動向調査事業 感染症予防普及啓発事業 	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	感染症発生時に疫学調査を行い、濃厚接触者の特定と感染拡大防止のために検査を実施。陽性者の入院調整や相談。主に、新型コロナウイルス感染症対応を実施。感染症発生動向調査の実施。	項目	実績 単位
		感染症届出受理件数	3,480 件
		性感染症通常検査数	88 件
事業の成果【定性的評価】	新型コロナウイルス感染症という新たな感染症に対応するプロセスについて学び、感染防止対策の理解を深める事ができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	003細目	02細々目	感染症予防対策事業		
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度		
予算額(A)	21,576	17,269		380,950		493,295	493,295		
決算額(B)=(C)+(D)	17,658	14,201		377,021					
財源※	特定財源(C)	5,689	3,958		222,737		189,218		
	一般財源(D)	11,969	10,243		154,284		304,077		
概算人件費(E)	86,900	86,900		102,700		213,300	23,700		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	11.00 0.00	11.00 0.00	13.00 0.00	27.00 0.00	27.00 0.00	27.00 0.00	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	104,558	101,101		479,721		706,595	516,995		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
60 /60	新型コロナウイルス感染症対応の効率化(人員配置や応援職員の派遣依頼、事務改善)	3年度	拡充して実施
		4年度	効率化して実施
		5年度	効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11100132	事業名称	不妊治療支援事業			事業区分	主要な事業 政策宣言18・その他
担当	保健部	地域保健センター	問い合わせ先	048-256-2022	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	少子化社会対策基本法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	不妊症及び不妊症の疑いがあるか、または診断された夫婦。	左記に加え、検査及び治療の開始日に妻の年齢が43歳未満の法律上の婚姻をしている夫婦であり、治療の助成にあたっては夫婦合算の所得が730万円未満の夫婦。			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)			
	・不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、高額な医療費がかかる、配偶者間の不妊治療に要する費用の一部助成を行う。・生殖医療専門医による相談事業(埼玉医科大学総合医療センター委託)を行うことにより、不妊症や不妊症に悩む夫婦の不安や悩みを軽減する。	・早期不妊検査費・不妊症検査費助成事業・・・指定医療機関等で受けた検査にかかる費用に対し、夫婦1組につき各1回のみ2万円の上限助成。・特定不妊治療費助成事業・・・指定医療機関で受けた特定不妊治療にかかる費用に対し、年齢や治療内容に応じ、費用の一部を助成。・川口市不妊専門相談センターの案内。			
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績			
	・不妊検査費・不妊症検査費助成事業及び特定不妊治療費助成事業の申請受付により、助成金の交付を実施(令和3年1月1日以降に治療を終了した分については、助成金の拡充の対象)。不妊症及び不妊症について周知し、併せて不妊専門相談センターを案内。	項目	実績	単位	
		特定不妊治療費助成事業	718	件	
		早期不妊検査費・不妊症検査費助成事業	237	件	
事業の成果【定性的評価】	助成金の交付により、特定不妊治療等にかかる高額な医療費の負担軽減が図れた。また、不妊専門相談センターについては、不妊検査や治療に悩む夫婦に対し、生殖医療専門医による情報提供及び相談指導を提供することができた。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	08目	003細目	07細々目	不妊治療支援事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度				
予算額(A)	196,760	171,522		185,005	329,380		329,380			
決算額(B)=(C)+(D)	148,908	152,676		184,642						
財源※	特定財源(C)	76,770	76,627		79,551	150,367				
	一般財源(D)	72,138	76,049		105,091	179,013				
概算人件費(E)	11,850	11,850		11,850	11,850		11,850			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	160,758	164,526		196,492	341,230		341,230			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
60 /60	助成申請に対して、速やかに交付決定手続きが行えるよう、人員の確保維持。今後の制度改正に向けて、国や他の自治体の動向を注視していく。	3年度	拡充して実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11100204	事業名称	健康推進事業	事業区分	主要な事業 政策宣言7
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3291	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 13 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	食育基本法、自殺対策基本法、川口市地域保健審議会条例、川口市補助金等交付規則、健康管理士一般指導員資格取得者補助金交付要綱他

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 健康で活気に満ちた街づくりを推進するため、市民の心身の健康・生きがいづくりを支援する。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ・地域保健審議会の開催 ・健康・生きがいづくり通信の発行 ・受動喫煙防止啓発チラシ発行 ・健康応援アプリ「Sun-歩」運用 ・地域健康指導者資格取得者への補助	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・地域保健審議会開催(7月・2月) ・受動喫煙防止啓発チラシ発行 ・健康応援アプリ「Sun-歩」運用開始(12月) ・地域健康指導者資格取得者へ補助金交付	主な実績	
事業の成果【定性的評価】	地域の健康・生きがいづくりに関する諸施策を総合的に推進できた。	項目	実績 単位
		地域保健審議会	2 回
		受動喫煙防止啓発チラシ発行	500 部
		健康応援アプリ「Sun-歩」の利用者数	620 人

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域健康指導者資格の取得者			指標・目標値の説明(算定式)	健康管理士一般指導員と健康・生きがいづくりアドバイザー資格取得者の計				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	4	未達成	4	未達成	2	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別								
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	004細目	01細々目	健康推進事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度				
予算額(A)	8,274	6,470		2,563	2,027	2,027				
決算額(B)=(C)+(D)	7,498	5,748		1,399						
財源※	特定財源(C)	4,325	184		0	0				
	一般財源(D)	3,173	5,564		1,399	2,027				
概算人件費(E)	9,480	316		316	316	316				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.20	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	16,978	6,064		1,715	2,343	2,343				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
46 /60	地域健康指導者の資格取得については、健康に関するボランティア活動の増加につなげる目的であるので、単純な資格取得補助にならないよう引き続きしていく。 健康応援アプリ「Sun-歩」を12月にリリースすることができたが、利用者を更に増やせるように業者と連携し、市民ニーズに合致したものにしていく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11100301	事業名称	健康フェスティバル事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3291	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 10 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口健康フェスティバル実行委員会補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民 川口健康フェスティバル実行委員会	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 市民一人ひとりが健康のすばらしさを認識し、自分の健康は自分でつくるという自覚を持ち、市民主役の健康づくりの実現につなげる。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ・川口健康フェスティバルの開催	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 令和2年9月27日(月)に川口総合文化センターリリアで開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。イベント内で実施予定だった保健・医療・健康づくりに係る功労者表彰のみ10月下旬に郵送にて実施。実行委員会は、書面会議1回実施。	主な実績 項目 実績 単位 川口健康フェスティバル実行委員会 1 回	
事業の成果【定性的評価】	保健・医療・健康づくりに係る功労者に対する表彰を行い、本市の保健・医療の向上及び市民の健康増進への貢献に繋がった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	健康体験コーナー来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去3年間の体験コーナー来場者数の平均値(未実施年度分は除く)				
	単位	人	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値					832	723	630	630	
	実績値・達成状況					506 未達成	584 未達成	0 未達成		
指標②	名称	健康に係る講演会来場者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去3年間の講演会来場者数の平均値(未実施年度分は除く)				
	単位	人	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値					527	476	379	379	
	実績値・達成状況					374 未達成	253 未達成	0 未達成		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	004細目	02細々目	健康フェスティバル事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	3,141	3,050		2,935		2,935	2,935			
決算額(B)=(C)+(D)	2,731	2,165		51						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	2,731	2,165		51		2,935	2,935		
概算人件費(E)	5,135	5,135		5,135		5,135	5,135			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,866	7,300		5,186		8,070	8,070			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
44 /60	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、部分実施(表彰のみ郵送にて)となった。今後の状況にもよるが、新しい生活様式等を踏まえた内容に改める必要がある。また、来場者数の増及び業務の効率化を図るため、事業内容の大幅な見直しが必要。事業内容を委託することを視野に入れ、業者との打合せ及び調整を引き続き行う。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11100401	事業名称	食生活改善推進事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3199	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 54 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市食生活改善推進員協議会	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	食育等に関する様々なボランティア活動を行っている川口市食生活改善推進員に研修等を行い、地域の食生活の改善を図る。	・食生活改善推進員リーダー研修 ・食生活改善推進員養成講座	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	地域保健センター栄養士を講師とした「リーダー研修」を実施(講座3回、調理実習1回、会議1回)。8月には食育等の知識の向上を目的とした夏期学習会を実施。例年10~12月に行っている会員養成講座は新型コロナの影響で中止。	項目	実績 単位
		食生活改善推進員リーダー研修	5 回
事業の成果【定性的評価】	新型コロナの影響により、研修回数が減ったが、各研修により会員の質を向上させることができた。当協議会は市内で各種料理教室開催等のボランティア活動を実施しており、会員の質の向上が市民の食生活の改善に寄与している。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	食生活改善推進員養成講座参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の受講者数を基に算定			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	17 未達成	22 未達成	中止	—				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	004細目	03細々目	食生活改善推進事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	1,370	1,370		1,370		1,357	1,370			
決算額(B)=(C)+(D)	1,249	1,032		356						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	1,249	1,032		356		1,357	1,370		
概算人件費(E)	4,977	4,977		4,977		4,977	4,977			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.63	0.00	0.63	0.00	0.63	0.00	0.63	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,226	6,009		5,333		6,334	6,347			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	会員の高齢化が進んでいることから、今後の活動を行っていくうえで、いかに新規会員を増やしていくかが課題である。令和2年度は新型コロナの影響により各種イベント等が中止となったため、周知を行う機会がなかったが、今後も引き続き周知方法等の検討が必要である。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11100501	事業名称	その他保健衛生総務費		事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3199	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口歯科医師会補助金交付要綱、川口薬剤師会補助金交付要綱、川口食品衛生協会補助金交付要綱 等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・一般社団法人川口歯科医師会、一般社団法人川口薬剤師会、川口助産師会、川口食品衛生協会、埼玉県柔道整復師会川口支部	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	・各保健衛生関係団体に補助することにより、市民の健康増進及び公衆衛生の向上を図る。	各団体の活動を支援するため、補助金を交付する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・救急歯科診療、歯科健康診断 ・研修会、講習会 ・細菌検査・食品の自主検査の励行、巡回指導 ・街頭キャンペーン、パンフレット等の作成 などの活動に補助金を交付した。	項目	実績 単位
		川口歯科医師会補助金	679 千円
		川口薬剤師会補助金	170 千円
		川口食品衛生協会補助金	340 千円
事業の成果【定性的評価】	・歯科診療や歯科健康診断などにより、市民の歯科口腔衛生の向上が図られた。 ・講習会の開催、食品の自主検査の励行、巡回指導などにより、食中毒等の事故を未然に防止した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	005細目	04細々目	その他保健衛生総務費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	1,638	41,249		1,595		1,482		1,595		
決算額(B)=(C)+(D)	1,440	40,991		1,312						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,440	40,991		1,312		1,482			
概算人件費(E)	1,975	1,975		1,975		1,975		1,975		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,415	42,966		3,287		3,457		3,570		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	市民の健康増進、公衆衛生の向上のため必要な補助事業であるため、今後も現状維持で実施する。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11100601	事業名称	じん肺健康診断費補助事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3199	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 48 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	じん肺法、川口市補助金等交付規則、じん肺健康診断費補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・川口鋳物工業協同組合 ・川口機械工業協同組合	・川口鋳物工業協同組合員 ・川口機械工業協同組合員	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	じん肺法に基づくじん肺健康診断の受診促進を講じ、粉じん作業従事者の職業病の早期発見・治療を支援する。	川口鋳物工業協同組合及び川口機械工業協同組合が行っている、じん肺健康診断におけるレントゲン検査・肺機能検査等及び研修会・研究会等に係る経費を対象とし補助金を交付する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	川口鋳物工業協同組合が実施したじん肺健康診断に対し、補助金を交付した。	項目	実績 単位
		じん肺健康診断費補助金	2,146 千円
事業の成果【定性的評価】	じん肺健康診断の充実が図られ、粉じん作業従事者の職業病の早期発見・治療を支援することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	レントゲン受診者数			指標・目標値の説明(算定式)	じん肺健康診断におけるレントゲン受診者数(人) 目標設定がなじまない事業のため実績値のみとする				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	547	—	532	—	515	—			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	005細目	02細々目	じん肺健康診断費補助事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	2,500	2,500		2,500		2,500		2,500		
決算額(B)=(C)+(D)	2,385	2,253		2,146						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	2,385		2,253		2,146		2,500		
概算人件費(E)	395		395		395		395		395	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,780		2,648		2,541		2,895		2,895	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	粉じん作業従事者の健康のために欠かせない補助事業であるため、今後も現状維持で実施する。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11100801	事業名称	予防接種事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	地域保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 23 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	予防接種法、特定感染症検査等事業実施要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	予防接種法に基づく定期予防接種対象の市民 任意予防接種費用助成及び風しん抗体検査を希望する市民	左記のうち、定期予防接種を受けた者及び任意予防接種費用助成又は風しん抗体検査を受けた者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	感染症に感染するおそれのある者に対し、感染症の発病予防、症状の軽減、蔓延防止を目的に実施する。	川口市医師会等と委託契約し、同会会員の市内医療機関等で定期予防接種を個別接種として実施する。 また、費用助成制度のある任意予防接種及び風しん抗体検査についても、委託医療機関において実施する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	・予防接種法に基づく定期予防接種の実施 (ヒブ感染症、小児の肺炎球菌、B型肝炎、四種混合、BCG、麻疹、風疹、水痘、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん、ロタウイルス、高齢者肺炎球菌、高齢者インフルエンザ) ・任意接種費用助成(おたふく・風しん)、風しん抗体検査	項目	実績
事業の成果【定性的評価】	予防接種を実施することにより、感染症に罹患したものの重症化及び感染症の蔓延を防止することができた。 また、風しん抗体検査を行うことにより、先天性風しん症候群の予防につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	BCG予防接種の接種率			指標・目標値の説明(算定式)	定期予防接種対象者数を接種者数で除した数値					
	単位	%	指標の種別	結果							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況	98.02	未達成	99.10	未達成	98.40	未達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	08目	002細目	01細々目	予防接種事業					
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				
予算額(A)	1,598,933	1,703,656		1,904,013		1,864,407		1,870,409				
決算額(B)=(C)+(D)	1,576,983	1,594,903		1,834,473								
財源※	特定財源(C)	9,555	29,452		114,552		32,833					
	一般財源(D)	1,567,428	1,565,451		1,719,921		1,831,574					
概算人件費(E)	15,800	15,800		15,800		23,700		23,700				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	3.00	0.00	3.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,592,783	1,610,703		1,850,273		1,888,107		1,894,109				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	・接種率の減については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による接種控えが多少影響したものと考えられる。 ・予防接種法の改正による定期接種の種類増加に伴い、事務作業量や問い合わせが増えているため、会計年度任用職員の継続的な確保と正職員の増員が不可欠である。	3年度	拡充して実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11100811	事業名称	専門職員等研修費	事業区分	通常事業
担当	保健部	管理課	問い合わせ先 258-1110(#74-5712)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	保健所運営に関する法令その他通知等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	保健所内の専門職員等	市民 公衆衛生上の危機に直面する国内の住人		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	公衆衛生上の危機に対する予防及び拡大の防止のために、専門職員員の知識及び技術の向上を図ることで、市民又は公衆衛生上の危機に直面した国内の住人の衛生を維持又は向上させる。	公衆衛生に関する専門的な研修に参加する。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	日本公衆衛生学会、環境衛生監視員等研修会、環境衛生関係職員協議会総会、動物指導業務担当職員会議、循環式浴槽整備管理士認定講習会、全国食肉衛生検査所協議会理化学部会総会、結核予防会 結核研究所、PTSD対策専門研修、HIV検査相談研修会等。	項目	実績	単位
		結核予防会 結核研究所 保健師・看護師等基礎実践コース	16	日
ねずみ衛生害虫駆除技術研修会	3	日		
事業の成果【定性的評価】	各分野において必要とされる知識及び技術の取得により、各事象における個別対応力が向上し、衛生の維持又は向上に寄与した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	06目	001細目	02細々目	専門職員等研修費	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	3,861	2,862	699	2,436	2,436			
決算額(B)=(C)+(D)	2,477	2,224	311					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	2,477	2,224	311	2,436			
概算人件費(E)	2,370	2,370	2,370	2,370	2,370			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,847	4,594	2,681	4,806	4,806			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	公衆衛生については、新たな感染症等、多種多様な事例や研究が逐次行われており、最新の情報や技術の取得には研修が必要となる。研修参加にあたっては、業務の効率及び参加機会の公平性も考慮しなければならないため、必要な研修の判断を行った上で参加することとする。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11100821	事業名称	肝炎治療費助成事業			事業区分	通常事業
担当	保健部	疾病対策課	問い合わせ先	266-5557(#74-5741)		新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、肝炎対策基本法

2 事業概要

事務分類	法定受託事務	実施形態	直営												
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) B型及びC型ウイルス性肝炎に対する抗ウイルス療法(インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び核酸アナログ製剤治療)を受ける予定又は治療を受けている又は治療後経過観察中の者又は無症状保有者で経過観察が必要な者	受益者(最終的に受益を受ける人)	同左												
事業の概要	事業の目的(何のために) 肝炎・肝がん・重度肝硬変患者の早期かつ適切な医療を促進することで、肝がんの罹患率の減少を図る。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	・肝炎治療医療費助成の進達事務 ・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業申請の進達事務 ・肝炎重症化予防事業												
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・肝炎治療医療費助成申請書類の受理及び県への進達 ・肝炎検査費用助成申請書類の受理及び県への進達 ・肝炎ウイルス検査陽性者のフォローアップ	主な実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肝炎治療医療費助成進達事務</td> <td>252</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>肝炎初回精密検査費用助成申請進達事務</td> <td>17</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>定期検査費用助成申請の進達事務</td> <td>32</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	肝炎治療医療費助成進達事務	252	件	肝炎初回精密検査費用助成申請進達事務	17	件	定期検査費用助成申請の進達事務	32	件
項目	実績	単位													
肝炎治療医療費助成進達事務	252	件													
肝炎初回精密検査費用助成申請進達事務	17	件													
定期検査費用助成申請の進達事務	32	件													
事業の成果【定性的評価】	進達業務を滞りなく実施する事で、対象者が医療費の助成を受ける事ができた。														

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	フォローアップ事業フォロー数			指標・目標値の説明(算定式)	フォロー数÷陽性者数×100(%)				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	80	80	84	80	80				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	003細目	01細々目	肝炎治療費助成事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	165	252		209		228		228		
決算額(B)=(C)+(D)	112	164		155						
財源※	特定財源(C)	112		97		228				
	一般財源(D)	0		58		0				
概算人件費(E)	7,900		7,900		15,800		15,800		7,900	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,012		8,064		15,955		16,028		8,128	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
60 /60	初回精密検査及び定期検査費用助成の周知を図る。陽性者へのフォローアップ事業を電話等で確実に実施していく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11100901	事業名称	母子健康手帳交付・妊婦健康診査等事業			事業区分	通常事業
担当	保健部	地域保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 9 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	母子保健法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	母子健康手帳の交付・・・妊娠の届出のあった川口市民 妊婦健康診査・産後健診・・・川口市の妊婦及び産婦	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	妊娠から出産、育児、予防接種、健康診査などの記録管理や、経済的な理由などで妊娠中及び産後の健康管理を怠ることがないように経済的負担の軽減を図り、母子の健康を守るものである。	・母子健康手帳を交付する。 ・妊婦健康診査及び産後健診助成券を交付し、公費助成を実施する。 ・委託契約外の医療機関で受診した場合、償還払いにて公費助成を実施する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をされたか)	主な実績	
	・妊娠届出のあった川口市民に母子健康手帳を交付した。 ・妊産婦が、妊婦健康診査及び産後健診業務委託医療機関等に助成券を提出することにより、公費助成を実施した。 ・委託契約を実施していない医療機関等で妊婦健康診査・産後健診を受診した場合には、償還払いを実施した。	項目	実績
事業の成果【定性的評価】	住民票のない外国人妊婦への母子健康手帳の交付をスムーズに行えるよう、フローチャート・マニュアルを作成した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	助成券交付者数			指標・目標値の説明(算定式)	妊婦の届出をした者に対して、母子手帳及び助成券を交付することとなり、目標値を設定することがそぐわない。				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	5,531	5,379	4,910						
指標②	名称	一人当たりの妊産婦の受診回数			指標・目標値の説明(算定式)	埼玉県母子保健データ(受診した数÷助成券を受け取った妊婦の数)を基に算出(*平成30年度より産後健診を追加)				
	単位	回	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	11.25	未達成	11.31	未達成	11.27	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	08目	003細目	01細々目	母子健康手帳交付・妊婦健康診査等事業				
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度				
予算額(A)	485,159	464,173		506,807		514,887	516,387				
決算額(B)=(C)+(D)	462,580	453,416		473,951							
財源※	特定財源(C)	9,530	9,957		66,983		38,731				
	一般財源(D)	453,050	443,459		406,968		476,156				
概算人件費(E)	7,110	7,110		7,110		7,110	7,110				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.90	0.00	0.90	0.00	0.90	0.00	0.90	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	469,690	460,526		481,061		521,997	523,497				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	・より多くの妊婦及び産婦が当制度の利用に結びつくよう、工夫が必要である。 ・多胎児妊婦について助成制度を始める予定である。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11101001	事業名称	乳幼児健康診査・健康相談事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	地域保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 62 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	母子保健法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市市民の3か月児から6歳児	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	乳幼児の発育、発達を明らかにし、疾病や異常を早期に発見したり、適切な指導を行う。また、虫歯の予防、早期発見、治療によって幼児の歯科保健の向上を図る。発育発達が気になる児及びその保護者に対し、心理相談員などが相談に応じ保護者の不安を軽減し、育児支援をする。	対象児に対して、健康診査、健康相談を実施する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	3. 4か月児・1歳6か月児健康診査は川口市医師会に委託し、健診を実施した。1歳6か月児歯科健康診査は川口歯科医師会に委託し、歯科健診及びフッ化物塗布を実施した。3歳児健康診査は内科、歯科健診を集団健診と個別健診を併用して実施した。	項目	実績
事業の成果【定性的評価】	乳幼児の心身の発達等を促すとともに、保護者への相談指導を通して、育児不安等の軽減を図り、適切な対応ができるよう支援することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	3. 4か月児健康診査受診率			指標・目標値の説明(算定式)	埼玉県全市町村の平均受診率より算出(埼玉県の母子保健より)				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	94.60	未達成	92.88	未達成	93.30	未達成			
指標②	名称	3歳児健康診査受診率			指標・目標値の説明(算定式)	埼玉県全市町村の平均受診率より算出(埼玉県の母子保健より)				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	87.90	未達成	85.20	未達成	71.20	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	08目	003細目	02細々目	乳幼児健康診査・健康相談事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	104,387	101,606		119,055		144,694	157,573			
決算額(B)=(C)+(D)	96,075	90,862		102,213						
財源※	特定財源(C)	0		15,943		8,023				
	一般財源(D)	96,075	90,862		86,270		136,671			
概算人件費(E)	102,700	102,700		102,700		102,700	102,700			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	13.00	0.00	13.00	0.00	13.00	0.00	13.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	198,775		193,562		204,913		247,394		260,273	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	受診率の低い外国人に対する周知や健診問診票の外国語版の作成等、対応を強化して引き続き実施する。受診勧奨通知や幼稚園・保育所等に受診勧奨のチラシ掲示を今後も依頼し、受診率向上を目指す。感染状況を考慮し、健康診査の受診可能期間を延長し、受診機会の確保に努める。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11101201	事業名称	がん検診事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	地域保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 41 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法、がん対策推進基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 胃がん(レントゲン)、肺がん、大腸がん 40歳以上の市民 胃がん(内視鏡) 50歳以上の市民 子宮頸がん 20歳以上の市民 乳がん 40歳以上の女性市民	受益者(最終的に受益を受ける人)	同左
事業の概要	事業の目的(何のために) 各種がん検診を実施し、早期発見・早期治療し、市民のがんにおける死亡率の軽減に努める。更には、受診を通し市民が自ら生活習慣を見直し、がんに対し理解を深める。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	がんの早期発見のための受診勧奨、精密検査及び早期治療の促進、また、健康意識の向上に向けて、知識の普及啓発を行なう。
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・肺がん検診(個別検診) ・胃がん検診(レントゲン:集団検診、胃内視鏡:個別検診) ・大腸がん検診(個別検診) ・子宮頸がん検診(個別検診) ・乳がん検診(視触診・マンモグラフィ:個別・集団検診)	主な実績	項目 実績 単位
事業の成果【定性的評価】	がんの早期発見、早期治療、更には受診者本人及び家族、身近な人の健康意識の向上に結びついた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	子宮頸がん検診受診率			指標・目標値の説明(算定式)	第2次川口市健康・生きがいつくり計画における受診率目標:平成35年度までに35%の達成を目標とし、単年度では前年度を上回ることを目標とする。				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	13.20 達成	13.60 達成	13.11 未達成						
指標②	名称	乳がん検診受診率			指標・目標値の説明(算定式)	第2次川口市健康・生きがいつくり計画における受診率目標:平成35年度までに35%の達成を目標とし、単年度では前年度を上回ることを目標とする。				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	12.10 達成	12.50 達成	11.10 未達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	08目	004細目	01細々目	がん検診事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	690,213	738,801		787,923		768,206		810,014		
決算額(B)=(C)+(D)	689,979	724,852		728,458						
財源※	特定財源(C)	2,923		3,110		15,102		13,590		
	一般財源(D)	687,056		721,742		713,356		754,616		
概算人件費(E)	30,020		30,020		30,020		30,020		30,020	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	3.80	0.00	3.80	0.00	3.80	0.00	3.80	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	719,999		754,872		758,478		798,226		840,034	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、受診を控える市民も多い状況であった。また、医療機関でも、クラスターが発生しないように、受け入れ人数の控えるなど、受診率の低下につながる状況も見られた。今後は流行の動向を鑑み、受診勧奨等周知を強化し、受診率向上に努めていく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11101301	事業名称	健康診査事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	地域保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 48 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	健康増進法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託												
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 健康診査:40歳以上、生活保護受給者。肝炎ウイルス検診:20歳以上過去未受診者。訪問歯科健康診査:概ね65歳以上、在宅で寝たきり。成人歯科健康診査・歯科ドック・口腔がん検診:30歳以上。かかりつけ薬局強化事業:40歳以上。	受益者(最終的に受益を受ける人)	同左												
事業の概要	事業の目的(何のために) 疾病の予防および早期発見・早期治療を目的としている。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 疾病の早期発見のための受診勧奨、精密検査及び早期治療の促進、また、健康意識の向上に向けて、知識の普及啓発を行なう。													
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・健康診査・肝炎ウイルス検診・訪問歯科健康診査 ・成人歯科健康診査・歯科ドック・口腔がん検診 ・かかりつけ薬局強化事業(かかりつけ薬局での簡易血糖検査や受診勧奨)	主な実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度肝炎ウイルス検診受診者数</td> <td>3,482</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	令和2年度肝炎ウイルス検診受診者数	3,482	人						
項目	実績	単位													
令和2年度肝炎ウイルス検診受診者数	3,482	人													
事業の成果【定性的評価】	疾病の早期発見・早期治療、また、受診を通して自らの健康状態や正しい知識・情報を知る機会となり、健康に対する意識の向上につながった。さらに受診後にも健康相談等の継続したサービスの利用につながった。														

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	08目	004細目	02細々目	健康診査事業		
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度		
予算額(A)	97,107	87,360		80,948		81,785	90,960		
決算額(B)=(C)+(D)	90,508	77,178		70,102					
財源※	特定財源(C)	13,977	17,274		9,624		9,014		
	一般財源(D)	76,531	59,904		60,478		72,771		
概算人件費(E)	10,270	10,270		10,270		10,270	10,270		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	1.30 0.00	1.30 0.00	1.30 0.00	1.30 0.00	1.30 0.00	1.30 0.00	1.30 0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	100,778	87,448		80,372		92,055	101,230		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性						
56 /60	生活保護受給者の健康診査については、受診後の健康相談事業を実施した。今後も関係課と連携し、生活習慣病等重症化予防に取り組む。かかりつけ薬局強化事業については、糖尿病リスクのある若年層もみられることから、簡易血糖検査対象を30歳以上に拡充する。	<table border="1"> <tr> <td>3年度</td> <td>拡充して実施</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>現状維持で実施</td> </tr> </table>	3年度	拡充して実施	4年度	現状維持で実施	5年度	現状維持で実施
3年度	拡充して実施							
4年度	現状維持で実施							
5年度	現状維持で実施							

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11101401	事業名称	成人健康づくり事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	地域保健センター	問い合わせ先	256-2022	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 57 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	健康増進法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	健康増進法に基づき、疾病予防・早期発見・早期治療のため保健事業を総合的に実施し、市民の健康づくりを推進する。	健康に関する知識の向上と生活習慣の見直しが図れるよう、各種健康教育、成人健康相談・39ヘルスチェック等の健康相談、訪問指導などを実施する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	コロナ禍のため、健康教育は検診会場でのがん教育と出前講座のみを感染対策のうえで実施。健康相談は縮小し、地域保健センター会場のみ予約制で実施。訪問指導は必要最低限とし、原則中止とした。	項目	実績
事業の成果【定性的評価】	利用者は減少したが、市民が自らの健康に関心を持ち、生活習慣を見直すことにより疾病予防・重症化防止・介護予防に役立った。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	健康教育の延べ参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	健康教育の延べ参加者数(人) ※各教室が定員を満たした場合の延べ参加者数(各教室の定員の合計)とした。				
	単位	人	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値					5,000	5,000	5,000		
	実績値・達成状況	4,513	未達成	4,764	未達成	1,867	未達成			
指標②	名称	健康相談の延べ参加者数			指標・目標値の説明(算定式)	健康相談の延べ参加者数(人) ※各種健康相談の来場予定数の合計とした。				
	単位	人	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値					1,000	1,000	1,000		
	実績値・達成状況	1,002	達成	917	未達成	27	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	08目	004細目	03細々目	成人健康づくり事業				
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度				
予算額(A)	1,961	2,222		2,483		4,792	4,792				
決算額(B)=(C)+(D)	1,866	2,017		1,192							
財源※	特定財源(C)	215	381		164		312				
	一般財源(D)	1,651	1,636		1,028		4,480				
概算人件費(E)	48,980	48,980		48,980		48,980	48,980				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	6.20	0.00	6.20	0.00	6.20	0.00	6.20	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	50,846	50,997		50,172		53,772	53,772				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	新型コロナウイルス感染症のため各事業を縮小して実施。今後は新型コロナウイルス流行状況を注視しつつ、感染防止対策を徹底して事業を展開していくとともに、民間活用やWEBを利用した情報発信を推進していく。また、がん患者ウィッグ購入費助成金を交付することにより、がん患者の社会生活向上を図る。	3年度	拡充して実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11101501	事業名称	精神保健福祉支援事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	疾病対策課	問い合わせ先 266-5557(#74-5752)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 14 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	「精神保健福祉法」、「自殺対策基本法」、「医療観察法」、「アルコール健康障害対策基本法」

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	・一般市民 ・地域で生活する精神障害または疑いのある者とその家族 ・精神保健福祉相談支援に携わる職員	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民の精神的健康の保持増進を図るとともに、精神障害または疑いのある者が地域で安定した生活を送れることを目的とする。	①精神疾患の早期発見・早期治療 ②精神障害者の地域生活の支援 ③こころの健康づくりに関する知識の普及啓発 ④精神障害に対する正しい知識の普及 ⑤精神保健福祉に携わる人材の育成		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	①相談支援(訪問、面接、精神保健福祉専門相談、アウトリーチ事業)②健康教育(こころの健康講座、家族教室、ひきこもり家族のつどい)③社会復帰支援事業(ソーシャルクラブ)④自殺対策事業(メンタルヘルスチェック、ゲートキーパー研修等)⑤事例検討会、研修等	項目	実績	単位
		ゲートキーパー研修受講者数	367	人
ゲートキーパー研修開催回数	7	回		
相談支援件数	7,137	件		
事業の成果【定性的評価】	普及啓発によって市民や関係機関からの相談が増加し、各機関と連携し支援することで市民の精神的健康の保持増進に寄与した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ゲートキーパー研修			指標・目標値の説明(算定式)	川口市自殺対策推進計画【2023年までの目標値】 ゲートキーパー研修受講者数5000人 (令和元年度までの累計受講者数4266人)				
	単位	人	指標の種別	活動		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	700	700	200	200	200	200	200	200	
	実績値・達成状況	701	達成	316	未達成	367	達成			
指標②	名称	相談支援			指標・目標値の説明(算定式)	相談支援件数(延べ件数): 訪問、面接、電話、メール、精神保健福祉専門相談での相談				
	単位	件	指標の種別	活動		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
	実績値・達成状況	5,193	達成	6,289	達成	7,137	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	004細目	01細々目	精神保健福祉支援事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	5,592	26,753		19,118		27,255		27,255		
決算額(B)=(C)+(D)	4,464	21,272		15,766						
財源※	特定財源(C)	438		13,677		15,183		15,316		
	一般財源(D)	4,026		7,595		583		11,939		
概算人件費(E)	63,200		71,100		79,000		79,000		79,000	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	8.00	0.00	9.00	0.00	10.00	0.00	10.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	67,664		92,372		94,766		106,255		106,255	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 /60	生活困窮や高齢化、思春期におけるメンタルヘルス等といった課題が複雑かつ多様化し、支援が必要な状態であるにもかかわらず支援が行き届かない方が適切な支援へとつながるように、体制整備の充実や多機関との更なる連携の強化を図っている。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11101701	事業名称	食品衛生事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	食品衛生課	問い合わせ先	048-423-7889	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	食品衛生法、健康増進法、食品表示法、食品衛生法施行条例(県条例)、川口市食品衛生検査施設の設備及び職員の配置の基準等を定める条例 等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民、食品等事業者 等	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 食品の安全性を確保するため、飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止し、市民の健康を守る。また、特定給食施設等給食施設に指導助言を行い、市民の健康増進を図る。	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) ①法令等に基づく許可及び届出受理②食品衛生監視指導計画の策定③HACCPに沿った衛生管理の推進④食中毒等の相談及び指導並びに予防啓発⑤特定給食施設等給食施設に対する指導助言⑥食品表示(衛生及び保健事項)に係る指導及び啓発⑦食品等事業者に対する研修等の実施⑧リスクコミュニケーションの実施	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ①許可及び届出受理1,292件、②策定及び公表、③支援講習会・相談1回実施、④新型コロナウイルス感染症防止キャンペーンに併せて食中毒予防啓発、④・⑤・⑥相談6,893件、⑦実施回数同右、⑧新型コロナウイルス感染症のため中止	主な実績	
事業の成果【定性的評価】	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、一斉監視や規模の大きな講習会の実施を見送ったが、通常業務の相談・施設監視の中で、飲食に起因する衛生上の危害の発生防止並びに住民の健康増進に努めることができた。	項目	実績
		リーフレット配布数	939 枚
		講習会等実施回数	14 回
		キャスティング、広報表示板、コミュニケーション	6 回

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	監視指導			指標・目標値の説明(算定式)	食中毒対策のため、施設の監視指導を行った件数。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	1,604	達成	1,499	未達成	1,333	未達成			
指標②	名称	食品検査			指標・目標値の説明(算定式)	市内の食品の安全性を確保するための検査の検体数。				
	単位	検体	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	183	未達成	194	達成	78	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	10目	001細目	02細々目	食品衛生事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	5,696	6,165		5,231		4,931	4,931			
決算額(B)=(C)+(D)	4,360	4,096		1,881						
財源※	特定財源(C)	4,360	4,096		1,881		4,931			
	一般財源(D)	0	0		0		0			
概算人件費(E)	98,750	94,800		102,700		102,700		118,500		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	12.50	0.00	12.00	0.00	13.00	0.00	15.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	103,110		98,896		104,581		107,631		123,431	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	食品衛生法等の一部を改正する法律により制度化されたHACCPに沿った衛生管理の取り組み状況を確認・支援していく。また、食品等事業者が行うHACCPの検証を行うための方法となる自主検査の実施を推奨していく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11101801	事業名称	食肉衛生検査事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	食品衛生課	問い合わせ先	048-224-6995	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	と畜場法、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律、川口市と畜場の設置場所及び構造設備の基準等を定める条例 等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	と畜場設置者、認定小規模食鳥処理業者、届出食肉販売業者等	同左、市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	と畜場法、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律に定める獣畜等について、食用に供するために行う処理の適正確保のために必要な検査及び指導を行い、食肉等を起因とする衛生上の危害の発生を防止し、市民の健康の保護を図る。	①と畜検査申請に基づくと畜検査の実施、と畜場の施設監視 ②精密検査業務 ③と畜場、認定小規模食鳥処理場のHACCPに沿った衛生管理の推進 ④認定小規模食鳥処理業者等の監視、報告、届出の受理		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	①検査頭数 5,871頭、施設監視 190件 ②微生物検査12頭、病理検査17頭、理化学検査12頭の精密検査実施 ③HACCP会議8回、枝肉拭き取り検査81頭、衛生講習会1回の実施 ④認定小規模食鳥処理場等施設監視件数 21件	項目	実績	単位
		と畜検査頭数	5,871	頭
		精密検査実施頭数	41	頭
	施設監視回数	211	件	
事業の成果【定性的評価】	と畜場におけると畜検査、と畜場及び認定小規模食鳥処理場等の監視を通して施設の衛生管理の向上、食肉・食鳥肉の衛生確保に努めた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	と畜検査			指標・目標値の説明(算定式)	食用に供するために行った獣畜の検査頭数。			
	単位	頭	指標の種別	結果					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	5,171	達成	5,274	達成	5,871	達成		
指標②	名称	監視指導			指標・目標値の説明(算定式)	食肉・食鳥肉の安全を確保するため、施設の監視指導を行った件数。			
	単位	件	指標の種別	結果					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	201	達成	196	未達成	211	達成		

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	10目	002細目	01細々目	食肉衛生検査事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	17,279	16,634		14,967		16,961		16,961		
決算額(B)=(C)+(D)	11,750	14,734		12,819						
財源※	特定財源(C)	2,702		1,623		2,345				
	一般財源(D)	9,573		12,032		11,196		14,616		
概算人件費(E)	47,400		55,300		47,400		55,300		55,300	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	6.00	0.00	7.00	0.00	6.00	0.00	7.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	59,150		70,034		60,219		72,261		72,261	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
53 /60	と畜場法及び食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律の一部が改正され、HACCPに沿った衛生管理の実施が義務化された。令和3年6月に完全施行となり、HACCPの適切な運用が課題となっているため、毎日の現場検査を通じて作業を確認するとともに衛生管理の更なる向上のため指導を行う。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11102001	事業名称	衛生検査事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	衛生検査課	問い合わせ先	048-242-5348	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ① 保健・予防活動の推進
根拠法令等	感染症法、食品衛生法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	各種検体検査を実施することにより、疾病の拡大防止及び食品衛生の向上を目的とする。	感染症検査 食品等収去検査 食中毒検体検査	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	感染症病原体等検査 3類感染症接触者検診 血液検査(QFT、STD) 食品等収去検査 食中毒検体検査	項目	実績 単位
		感染症検査	11,842 検体数
		食品等収去検査	78 検体数
食中毒検体検査	32 検体数		
事業の成果【定性的評価】	行政ニーズに対応し、検査項目の拡充を図った。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	11目	001細目	02細々目	衛生検査事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	76,681	71,966		145,208		191,084		91,875		
決算額(B)=(C)+(D)	67,162	62,267		110,665						
財源※	特定財源(C)	5,814	7,210		33,494		74,111			
	一般財源(D)	61,348	55,057		77,171		116,973			
概算人件費(E)	71,100	71,100		71,100		86,900		86,900		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	9.00 0.00	9.00 0.00		9.00 0.00		11.00 0.00		11.00 0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	138,262	133,367		181,765		277,984		178,775		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	感染症対策に伴う検査などの常に変化する行政ニーズに対応するため、検査の質・量ともに拡充することが求められていることから、組織の体制強化が急務である。	3年度 拡充して実施 4年度 拡充して実施 5年度 拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11200011	事業名称	医療施設指導等事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	管理課	問い合わせ先	258-1110(#74-5724)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	医療法、あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律、柔道整復師法等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	医療機関開設者等	市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	医療施設関連法令の適正な運用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関等に関する許可・届出等 医療機関等に対する監視・指導等 		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 病院・診療所への立入検査(7~2月) かかりつけ医療機関マップのデータ更新(3月完成) 	項目	実績	単位
		病院・診療所の定期検査	25	回
事業の成果【定性的評価】	医療提供体制の整備により、市民の安心・安全を図ることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	病院・診療所の定期立入検査			指標・目標値の説明(算定式)	病院:毎年実施 有床診療所:3年に1回実施			
	単位	回	指標の種別	活動					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	25	24	25	24	24			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位								
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	06目	002細目	02細々目	医療施設指導等事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	10,104	1,885		1,885		3,831		3,831		
決算額(B)=(C)+(D)	8,628	1,866		1,878						
財源※	特定財源(C)	103		125		135				
	一般財源(D)	8,525		1,753		3,696				
概算人件費(E)	15,800		15,800		15,800		15,800		15,800	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	24,428		17,666		17,678		19,631		19,631	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
56 /60	立入検査の水準の向上のため、診療放射線技師、臨床検査技師等の専門職の配置が望ましい。	3年度	現状維持で実施	
		4年度	現状維持で実施	
		5年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11200103	事業名称	小児夜間等救急診療事業	事業区分	主要な事業 その他
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先 229-3291	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 10 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、小児救急医療施設運営費補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	こども夜間救急診療所及び市内3病院	救急医療を必要とする小児とその保護者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	休日や夜間における小児救急患者に対応する。乳幼児を持つ保護者のホームケアを啓発し、不要不急の受診を減らし、小児医療の現場を守る。	<ul style="list-style-type: none"> 小児救急患者に対する救急診療の実施 小児医療講座の開催 		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> 平日23時、土曜、日曜・祝日・休日・年末年始22時まではこども夜間救急診療所で診療を実施した こども夜間救急診療所の診療終了後から翌朝8時まで、市内3病院で診療を実施した 小児医療講座は中止とした 	項目	実績	単位
		年間診療日数	365	日
		小児夜間等救急診療対応医療機関数	4	機関
事業の成果【定性的評価】	小児夜間救急診療体制を確保し、広報かわぐちや市ホームページ等で周知したことで、市民ニーズに対応したきめ細かいサービスの提供ができた。また、こども夜間救急診療所により、年間を通じて診療を行う拠点ができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	パパ・ママのための小児医療講座参加者満足度			指標・目標値の説明(算定式)	参加者アンケートにおいて「(当講座内容が)役立つ」「まあまあ役立つ」と回答した割合					
	単位	%	指標の種別	成果							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況	99	達成	98	達成	中止	—				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	03細々目	小児夜間等救急診療事業				
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度				
予算額(A)	180,983	202,973		154,820		161,552	161,552				
決算額(B)=(C)+(D)	83,609	190,507		148,256							
財源※	特定財源(C)	16,828	16,951		39,225		81,092				
	一般財源(D)	66,781	173,556		109,031		80,460				
概算人件費(E)	7,110	9,480		9,480		9,480	9,480				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.90	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	90,719	199,987		157,736		171,032	171,032				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	こども夜間救急診療所が開設となったが、受診者が当初見込を下回っており、広く市民に周知するとともに、市民が安心して受診できる小児の診療拠点となるよう関係機関と更なる協議を重ねていく。小児医療講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した実施方法を検討する。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11200201	事業名称	在宅当番医制事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3291	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 40 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市医師会	日曜・祝日に初期救急医療を必要とする市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	日曜・祝日の急な病気や怪我等の際に受診できる体制を確保する。	・休日等の初期救急医療体制の確保 ・休日等の初期救急医療体制の周知活動	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	日曜・休日・休日・年末年始の9時から17時まで、市医師会所属協力医療機関により、1日4医療機関体制(病院・内科・小児科・その他)で診療業務を実施した。	項目	実績
		診療日数	72 日
		市医師会所属協力医療機関数	208 機関
事業の成果【定性的評価】	市医師会の協力を得て受診できる医療体制を整備、確保することにより、市民の初期救急医療ニーズに対応することができた。また、市広報紙裏面に「救急診療当番医」の当番表として固定掲載したことが、市民の意識に定着し安心につながっている。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	01細々目	在宅当番医制事業	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	23,286	26,671	23,338	23,311	23,311			
決算額(B)=(C)+(D)	23,219	25,040	23,309					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	23,219	25,040	23,309	23,311			
概算人件費(E)	1,422	1,422	1,422	1,422	1,422			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	24,641	26,462	24,731	24,733	24,733			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	厳しい財政状況と医師の高齢化や医師不足のため、今後この初期救急医療体制をどのように継続していくか、また、市民の医療に対する知識の普及・啓発が課題である。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11200301	事業名称	在宅歯科診療事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3291	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 61 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口歯科医師会	日曜・祝日に歯科の初期救急医療を必要とする市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	日曜・祝日の救急歯科患者に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> 休日等における歯科初期救急医療体制の確保 休日等における歯科初期救急医療体制の周知活動 		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	日曜・祝日・休日・年末年始の9時から17時まで、市歯科医師会所属協力医療機関により、1日2医療機関体制で診療業務を実施した。	項目	実績	単位
		診療日数	72	日
歯科医師会所属協力医療機関数	143	件		
事業の成果【定性的評価】	歯科医師会の協力を得て、受診できる医療体制を整備、確保することにより、市民の初期救急医療ニーズに対応することができた。また、市広報誌裏面に「救急診療当番医」の当番表として固定掲載したことが、市民の意識に定着し安心につながっている。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	02細々目	在宅歯科診療事業	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	11,032	12,289	11,131	11,131	11,131			
決算額(B)=(C)+(D)	11,001	11,942	11,131					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	11,001	11,942	11,131	11,131			
概算人件費(E)	1,422	1,422	1,422	1,422	1,422		1,422	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	12,423	13,364	12,553	12,553	12,553		12,553	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	9 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	9 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
40 /60	日曜に診療を行っている歯科診療所も増えており、ニーズは低くなりつつある。しかし、祝日は診療をしている歯科診療所は少なく、高いニーズがあると考えられる。今後は、市民ニーズに対応した適正な救急歯科医療体制の整備を図れるよう、必要に応じて体制の見直し等を川口歯科医師会と協議していく。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11200401	事業名称	病院群輪番制運営事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3291	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 55 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市病院群輪番制運営事業補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)第1条に基づき埼玉県知事の認定を受け、病院群輪番制事業に協力申請のあった12医療機関	休日や夜間に診療が必要となる患者(特に入院の必要性が考えられる患者)	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	日曜・祝日・休日・年末年始の8時から18時まで(以下「休日」という。)及び全日の18時から翌日の8時まで(以下「夜間」という。)において、救急車及び初期救急医療施設からの転送重症患者の受入等(以下「第二次救急医療」という。)を確保する。	第二次救急医療を提供する体制を確保することに要した費用の一部を補助金として支出。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	当番医療機関(済生会川口総合病院他11医療機関)へ補助金を交付した。	項目	実績 単位
		川口市病院群輪番制運営事業補助金	31,045 千円
事業の成果【定性的評価】	休日・夜間において入院治療を必要とする重症患者の医療を確保できた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	04細々目	病院群輪番制運営事業	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	31,116	31,471	31,045	31,045	31,045			
決算額(B)=(C)+(D)	31,116	31,400	31,044					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	31,116	31,400	31,044	31,045			
概算人件費(E)	2,765	2,765	2,765	2,765	2,765			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.35	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	33,881	34,165	33,809	33,810	33,810			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	病院群輪番制参加医療機関は、医師等各病院毎の規模が異なるため救急搬送受入患者数のばらつきが見られる。受入患者数のばらつきの改善は難しいが、参加医療機関に対し、可能な限りの搬送受入れをお願いしていく。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11200501	事業名称	外国人未払医療費対策事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3199	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 6 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、埼玉県外国人未払医療費対策事業補助金交付要綱、川口市外国人未払医療費対策事業補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	国立及び県立を除く県内の医療機関	医療機関を利用する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	外国人に係る救急医療に関し発生した医療費等の未収金について、医療機関に対し補助金を交付することにより、救急医療体制の円滑な運営に資する。	市内に居所等を有し日本国籍を有しない者で、緊急を要す治療を受けた傷病者で、本人の債務により医療費の返済が行えない者に係る医療費のうち、1年以上経過した未収金に対し補助する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	対象医療費、入院時食事療養費のうち未収納金の補助を行った。	項目	実績 単位
		外国人未払医療費対策事業補助金	80 千円
事業の成果【定性的評価】	外国人に係る救急医療に関し発生した医療費等の未収金について、医療機関に対し補助金を交付することにより健全な病院経営に寄与し、地域救急医療体制の確保を維持することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	補助金交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	補助金を交付した件数(人数) 目標設定がなじまない事業であるため実績のみとする			
	単位	件	指標の種別	結果					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	3	1	1					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	05細々目	外国人未払医療費対策事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	2,415	70		80		1,610		80		
決算額(B)=(C)+(D)	1,085	70		80						
財源※	特定財源(C)	505	35		40		805			
	一般財源(D)	580	35		40		805			
概算人件費(E)	395	395		395		395		395		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,480	465		475		2,005		475		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	外国人が増加する中で、急性期の傷病による救急医療を受けた一部の外国人の医療費未収金により、医療機関の負担が増加している。救急医療体制の運営を確保するため、未収金の一部を補助する一方で、補助金交付対象の医療機関に対し、積極的な未収金の回収に一層努めるよう求めていく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11200601	事業名称	献血推進事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	管理課	問い合わせ先	258-1110(#74-5723)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 53 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市献血推進連絡協議会補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金												
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民 川口市献血推進連絡協議会	受益者(最終的に受益を受ける人) 血液を必要とする市民													
事業の概要	事業の目的(何のために) 献血思想の普及・啓発を図ると共に、献血により必要血液を確保するため、献血推進連絡協議会を中心とし、各地区・事業所などに協力を得て、献血の推進及び献血組織の指導・育成を図る。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ・川口市献血推進連絡協議会への補助金交付 ・献血思想の普及・啓発 ・関係機関との連絡調整													
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・川口市献血推進連絡協議会の書面開催(6月) ・川口市献血推進連絡協議会への補助金交付 ・献血広報車運転業務の委託	主な実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>川口市献血推進連絡協議会補助金</td> <td>2,300,000</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>川口市献血推進連絡協議会</td> <td>1</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>献血広報車運行</td> <td>31</td> <td>回</td> </tr> </tbody> </table>		項目	実績	単位	川口市献血推進連絡協議会補助金	2,300,000	円	川口市献血推進連絡協議会	1	回	献血広報車運行	31	回
項目	実績	単位													
川口市献血推進連絡協議会補助金	2,300,000	円													
川口市献血推進連絡協議会	1	回													
献血広報車運行	31	回													
事業の成果【定性的評価】	血液事業の推進を図るとともに、血液を安定的に供給できる体制の確保に寄与した。														

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	献血者数			指標・目標値の説明(算定式)	埼玉県献血計画における目標値			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	2,551	未達成	2,454	未達成	2,486	未達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	06目	002細目	05細々目	献血推進事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	3,454	2,872		3,090		2,794	2,794			
決算額(B)=(C)+(D)	2,436	2,271		2,190						
財源※	特定財源(C)	64	64		64		64			
	一般財源(D)	2,372	2,207		2,126		2,730			
概算人件費(E)	790	790		790		790		790		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,226	3,061		2,980		3,584		3,584		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	献血可能年齢人口の減少傾向に伴い、献血者を確保する方策を講じる必要がある。引き続き県や献血の実施主体である埼玉県赤十字血液センターと協力し、献血者確保につとめていく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11200701	事業名称	骨髄移植ドナー支援事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3291	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 26 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、埼玉県骨髄移植ドナー助成費補助金交付要綱、川口市骨髄移植ドナー助成金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄・末梢血幹細胞を提供した方。(以下「ドナー」という。)	骨髄移植を必要とする患者		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	ドナーの経済的負担を軽減するため助成金を交付し、ドナー登録の一層の拡大及びドナーが骨髄等を提供しやすい環境の整備を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ドナーへ助成金を交付。 支援事業の周知活動。 		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> ドナー1人につき、14万円(上限額)の助成をした。 骨髄移植提供に要した日数(上限7日)×2万円/1日で算出した。 広報かわぐち10月号にて、骨髄バンク推進月間を案内し、助成金の概要を周知した。 	項目	実績	単位
		助成金交付人数	2	人
事業の成果【定性的評価】	ドナーの経済的負担の軽減が図られ、患者の骨髄移植機会の提供に寄与した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	助成金交付率			指標・目標値の説明(算定式)	助成金の交付申請をしたドナーに対する助成金の交付率					
	単位	%	指標の種別	結果							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況	100	達成	100	達成	100	達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	005細目	01細々目	骨髄移植ドナー支援事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	840	1,120		840		1,120		1,120		
決算額(B)=(C)+(D)	140	1,120		280						
財源※	特定財源(C)	70		560		140		560		
	一般財源(D)	70		560		140		560		
概算人件費(E)	316		316		316		316		316	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00	0.04	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	456		1,436		596		1,436		1,436	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	5 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
42 /60	将来的な市民ニーズについて経過を観察し、今回の実績を更に上回れるよう助成金制度の周知方法の改善を図る。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11200801	事業名称	医師会補助事業			事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3199	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 50 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、川口市医師会補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	一般社団法人川口市医師会	市内の医療機関を利用する市民			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	医師会の活動を支援し、地域医療の推進、市民の疾病予防及び公衆衛生の向上を図る。	一般社団法人川口市医師会に対する補助金を交付する。			
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績			
	川口市医師会が行った地域医療推進事業、公衆衛生啓発事業、学術研究事業に対し、補助金を交付した。	項目	実績	単位	
		川口市医師会補助金	2,547	千円	
事業の成果【定性的評価】	・地域医療推進事業により、市民の健康保持増進が図られた。 ・学術研究事業により、川口市医師会員の学術レベルが向上し、質の高い医療サービスが提供された。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	005細目	03細々目	医師会補助事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	2,547	2,547		2,547		2,547	2,547			
決算額(B)=(C)+(D)	2,547	2,547		2,547						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	2,547	2,547		2,547		2,547	2,547		
概算人件費(E)	395	395		395		395	395			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,942	2,942		2,942		2,942	2,942			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	川口市医師会の活動は、市民の疾病予防及び公衆衛生の向上のために重要なものであるため、今後も本事業を現状維持で実施する。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11200901	事業名称	公的医療機関運営費補助事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3291	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 25 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	特別交付税に関する省令、川口市補助金等交付規則、川口市公的医療機関運営費補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市内公的医療機関	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市域全体の医療体制の充実及び医療水準の確保を図り、市民の健康増進と医療福祉の向上を図る。	医療法第31条に定める公的医療機関である済生会川口総合病院が行う不採算医療部門の運営に要する経費に対し、補助金を交付。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	「特別交付税に関する省令」に基づき補助金の基準額を算定し、予算の範囲内の額を交付した。	項目	実績 単位
		川口市公的医療機関運営費補助金交付	133,871 千円
事業の成果【定性的評価】	採算性の低い診療分野が維持されるなど公的医療機関としての機能が維持された。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	06細々目	公的医療機関運営費補助事業	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	132,217	133,639	133,871	151,958	151,958			
決算額(B)=(C)+(D)	132,217	133,639	133,871					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	132,217	133,639	133,871	151,958			
概算人件費(E)	395	395	395	395	395			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	132,612	134,034	134,266	152,353	152,353			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	市域の医療体制の充実及び医療水準の確保を図り、市民の健康増進と医療福祉の向上を図るため、不採算医療部門の運営に要する経費に対し、今後も継続して補助金を交付する。また、市域の医療体制のさらなる拡充に努める。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11201001	事業名称	済生会川口看護専門学校補助事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3199	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 54 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、済生会川口看護専門学校補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	済生会川口看護専門学校	市内医療機関を利用する市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	看護師を養成している看護専門学校への補助により、多くの卒業生に川口市内の医療機関に就職してもらい、看護師不足を解消する。	看護師養成事業に対して補助金を支出する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	看護師育成に必要な人件費、消耗器具備品費、研修研究費等に対して補助金を交付した。	項目	実績 単位
		済生会川口看護専門学校補助金	4,270 千円
事業の成果【定性的評価】	最新の医療の動向を踏まえた教育を受け、質の高い看護技術を習得した学生が38名卒業した。卒業生のうち92%が市内の医療機関に就職し、市民に対する医療サービス提供体制の充実に貢献した。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	07細々目	済生会川口看護専門学校補助事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	4,270	4,270		4,270		4,270		4,270		
決算額(B)=(C)+(D)	4,270	4,270		4,270						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	4,270		4,270		4,270		4,270		
概算人件費(E)	395		395		395		395		395	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,665		4,665		4,665		4,665		4,665	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	市内の医療機関で勤務する看護師を確保し、保健医療の充実を図るために必要な補助事業であるため、今後も現状維持で実施する。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11201101	事業名称	済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	保健総務課	問い合わせ先	229-3199	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 26 年度 ~ 令和 6 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市補助金等交付規則、済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業に関する協定書

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	埼玉県済生会川口総合病院	市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	助成対象が公的医療機関として二次救急医療圏における小児医療、救急医療、災害医療、周産期医療等の一翼を担い、今後も引き続き安定した救急医療等を提供するとともに、さらなる医療提供機能の拡充を図り、地域に必要で高度な医療を安定的かつ継続的に確保する。	整備事業に要する借入金62億1793万1千円に対し、各年度の返済利子の2分の1以内の額を毎会計年度の予算の定めるところにより助成する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	返済利子の一部を助成した。	項目	実績 単位
		済生会新館建設等設備費利子助成金	8,620 千円
事業の成果【定性的評価】	救急診療、新生児及び周産期医療体制の拡充により、市民に対し質の高い医療の提供が可能となった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	01目	002細目	08細々目	済生会川口総合病院新館建設等整備費助成事業	
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
予算額(A)	10,000	10,000	10,424	10,424	10,424			
決算額(B)=(C)+(D)	9,797	9,359	8,620					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0			
	一般財源(D)	9,797	9,359	8,620	10,424			
概算人件費(E)	395	395	395	395	395			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	10,192	9,754	9,015	10,819	10,819			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	質の高い医療提供体制を確保するために必要な助成事業であり、今後も現状維持で実施する。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11201161	事業名称	医療安全相談事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	管理課	問い合わせ先 258-1110(＃74-5722)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	医療法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営									
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民等	受益者(最終的に受益を受ける人)	市民等									
事業の概要	事業の目的(何のために) 患者、家族等の医療に対する信頼を確保し、患者本位の医療を推進するため、医療機関に対する助言、情報提供及び研修、並びに患者、家族等に対する助言及び情報提供を行う。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ・患者、家族等からの医療機関に関する相談に対応し、助言や情報提供を行う。 ・医療機関を対象として医療安全に関する研修を実施する。										
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・医療安全相談(電話、メール等)(通年) ・医療安全研修(9/24、11/16)	主な実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全相談(令和3年3月末現在)</td> <td>393</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>医療安全に関する研修会</td> <td>2</td> <td>回</td> </tr> </tbody> </table>	項目	実績	単位	医療安全相談(令和3年3月末現在)	393	件	医療安全に関する研修会	2	回
項目	実績	単位										
医療安全相談(令和3年3月末現在)	393	件										
医療安全に関する研修会	2	回										
事業の成果【定性的評価】	新型コロナウイルス感染症の影響により医療機関への受診控えがあり、相談件数は減少したが、医療安全意識の向上により、市民の安心・安全を図ることができた。											

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	医療安全相談件数			指標・目標値の説明(算定式)	電話やメールによる医療安全相談件数				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	544	達成	552	達成	393	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	06目	002細目	01細々目	医療安全相談事業					
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				
予算額(A)	25	25		10		50		50				
決算額(B)=(C)+(D)	0	25		10		50		50				
財源※	特定財源(C)	0	25		10		50		50			
	一般財源(D)	0	0		0		0		0			
概算人件費(E)	2,370	2,370		2,370		2,370		2,370				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,370	2,395		2,380		2,420		2,420				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
44 /60	新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、院内の感染対策やオンライン受診の可否についての相談が増加した。また医療内容の適正さや医療職の接遇についての改善を求める声も多く、問題解決への期待値も高い。受益者(市民)に対し、医療安全相談で応需可能な内容の周知が長期的に必要である。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11201171	事業名称	薬事関連施設指導等事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	管理課	問い合わせ先 258-1110(#74-5724)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - ① 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、毒物及び劇物取締法等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	薬局開設者等	市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	薬事関連法令の適正な運用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・薬局等に関する許可、届出等 ・薬局等に対する監視、指導等 		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	<ul style="list-style-type: none"> ・薬事関連施設に対する許可及び監視指導(通年) ・健康食品、家庭用品等の試買調査 	項目	実績	単位
		薬局・医薬品販売業者の監視指導件数	98	件
事業の成果【定性的評価】	医薬品等の供給体制の整備及び毒物劇物に係る安全管理の周知を行うことにより、市民の安全、安心を図ることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	薬局・医薬品販売業者の監視指導件数			指標・目標値の説明(算定式)	薬局等に対し、6年に1回以上実施				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
	実績値・達成状況	118	達成	107	達成	98	達成			
指標②	名称	毒物劇物販売業者の監視指導件数			指標・目標値の説明(算定式)	毒物劇物販売業者等に対し、6年に1回以上実施				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
	実績値・達成状況	41	達成	20	未達成	31	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	06目	002細目	03細々目	薬事関連施設指導等事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	89	132		102		108		108		
決算額(B)=(C)+(D)	50	83		83						
財源※	特定財源(C)	50		83		83		108		
	一般財源(D)	0		0		0		0		
概算人件費(E)	15,800		15,800		15,800		15,800		15,800	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	15,850		15,883		15,883		15,908		15,908	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	監視員の知識・経験の向上が必須である。 複数の監視員が実施できるように体制を整えることが必要。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11201181	事業名称	難病支援事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	疾病対策課	問い合わせ先	266-5557(＃74-5731)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 30 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	難病の患者に対する医療等に関する法律、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律、石綿による健康被害の救済に関する法律

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	指定難病患者とその家族、原子爆弾被爆者健康手帳の交付を受けた人、石綿による健康被害を受けた人及びその遺族	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	・指定難病患者の医療費の負担軽減及び疾病に対する不安の解消をするため ・原子爆弾被爆者の医療費の負担軽減を図るため ・石綿による健康被害を受けた人及びその遺族へ救済給付を行うため	・指定難病患者の医療給付支給認定申請、原子爆弾被爆者の医療給付の受理及び埼玉県への進達事務 ・在宅難病患者地域支援事業(療養計画策定・評価、訪問相談員育成、医療相談、訪問相談・指導) ・石綿健康被害者及びその遺族からの給付申請の受付事務		
令和2年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	・指定難病医療給付新規、変更及び継続自動更新の案内、進達・在宅難病患者訪問、面接相談、ケース支援検討会議、療養支援計画策定・難病対策地域協議会設置・難病相談支援者研修(書面)・原子爆弾被爆者、石綿健康被害医療給付申請受付、進達	項目	実績	単位
事業の成果 【定性的評価】	・医療費、介護負担が軽減され生活の質の向上及び不安の解消に寄与した ・疾病に対する理解を深めることができた	指定難病医療給付新規、変更受付	1,330	件
		在宅難病患者訪問件数	59	件
		難病相談支援者研修(書面)	203	通

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ALS患者及び家族への療養支援			指標・目標値の説明(算定式)	ALS患者の療養支援計画の作成率					
	単位	率	指標の種別	活動							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況	100	100	100	100	100					
指標②	名称	災害時医療機器使用者リストの更新			指標・目標値の説明(算定式)	災害時医療機器使用者リストの更新回数					
	単位	回	指標の種別	活動							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況	12	12	12	12	12					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	04款	01項	07目	002細目	01細々目	難病支援事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	8,754	11,074		1,501		17,718		17,718		
決算額(B)=(C)+(D)	8,054	9,248		1,493						
財源※	特定財源(C)	1,259	1,279		1,314		1,634			
	一般財源(D)	6,795	7,969		179		16,084			
概算人件費(E)	47,400	47,400		47,400		47,400		47,400		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	6.00	0.00	6.00	0.00	6.00	0.00	6.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	55,454	56,648		48,893		65,118		65,118		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	災害時医療機器リストを月に一度見直し・更新を図っている。これら最新の情報を踏まえた災害時を想定した難病患者の療養支援計画の策定、見直しを適宜実施していく。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11201201	事業名称	奨学金貸付事業		事業区分	通常事業
担当	保健部	看護専門学校	問い合わせ先	287-2511	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市看護学生等奨学金条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	看護師を志望する看護学生等(看護師養成施設、保健師養成所、助産師養成所)で学業成績が良好で品行方正で身体強健な者で、卒業後に市内の医療機関等において、看護師等として就業を希望する者。	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	看護師が不足している現在、奨学金貸付事業を継続することで、より優秀な看護師を養成し、市内医療機関の看護師需要が確保でき、また市内医療機関の充実と、より高い看護能力を有する人材の育成を図ることが目的である。	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生に対して新規貸付、在校生に対して継続貸付 ・市内病院就職者の奨学金返還免除 ・免除対象者以外への返還依頼 	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	年度当初に申請を募り、予算の範囲内で貸付決定を行っている。具体的には、川口市看護学生等奨学金条例に基づき、一人当たり年間36万円(月額3万円)の貸付を行った。	項目	実績 単位
		奨学金貸付額	22,440,000 円
		貸付者のうち、卒業生の市内就職率	92.59 %
事業の成果【定性的評価】	卒業生41名のうち貸付者は27名で、卒業後の進路については、市内就職者が25名、進学者が1名、その他が1名となっている。市内就職者のうち川口市立医療センターには12名、他の市内医療機関には13名が就職している。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	看護学校事業特別会計	01款	01項	01目	003細目	01細々目	奨学金貸付事業			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	24,480	24,480	23,760	22,680	22,680					
決算額(B)=(C)+(D)	19,260	21,870	22,440							
財源※	特定財源(C)	6,955	4,710	2,320	6,481					
	一般財源(D)	12,305	17,160	20,120	16,199					
概算人件費(E)	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	27,160	29,770	30,340	30,580	30,580					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	奨学金貸付希望者が増加傾向にあり、奨学生の選考が厳しくなってきたが、市内医療機関の看護師不足の解消や、優秀な看護人材の育成、確保に寄与するため、学生の学業成績及び生活態度等を十分に考慮し今後とも貸付を実施していく。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11201301	事業名称	看護学科運営費	事業区分	通常事業
担当	保健部	看護専門学校	問い合わせ先	287-2511	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ② 医療体制の充実
根拠法令等	川口市立看護専門学校設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	学校教育法第90条第1項に該当する本校の入学者。	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	看護師養成施設として、豊かな人間性を養い、看護専門職として必要な知識・技術・態度を習得し社会のニーズに対応できる有能な看護師を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・修業年限3年間で所定の教育内容並びに授業科目である102単位(3000時間)を修得する ・看護師の国家資格を取得する 	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	看護師の国家資格を取得するために修業年限3年間で、所定の教育内容並びに授業科目である102単位(3000時間)を修得。	項目	実績 単位
		卒業生数	41 人
		看護師国家試験合格者数	40 人
事業の成果【定性的評価】	2月14日実施の第110回看護師国家試験は卒業予定者41名が受験。うち40名が合格(合格率は97.6%、全国の平均合格率は90.4%)。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)			
	単位	指標の種別				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	実績値・達成状況					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	看護学校事業特別会計	02款	01項	01目	001細目	01細々目	看護学科運営費
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
予算額(A)	21,747	20,603	23,413	22,124	22,124		
決算額(B)=(C)+(D)	19,251	18,518	19,917				
財源※	特定財源(C)	19,251	18,518	19,917	22,124		
	一般財源(D)	0	0	0	0		
概算人件費(E)	94,800	86,900	94,800	94,800	94,800		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	12.00 0.00	11.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00	12.00 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	114,051	105,418	114,717	116,924	116,924		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
58 /60	令和4年度にカリキュラム改正行われるため、教育課程を改正内容にあったものにしていき、学生の学習環境を時代に即したものにしてい。また教員については研修等の参加によるカリキュラム改正に即した質の向上に取り組み、教育資源の集中を図っていく。	3年度 効率化して実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11300101	事業名称	被保険者証発送事務費			事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-7669	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	国民健康保険法、国民健康保険法施行令、国民健康保険法施行規則、川口市国民健康保険条例施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口市国民健康保険被保険者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	被保険者であること又は被保険者証兼高齢受給者証対象者であることを証明し、必要に応じ、定められた負担割合で療養の給付等を受けることを可能とする。	①被保険者に対し被保険者証を世帯単位で送付する。 ②70歳から74歳までの被保険者に対し被保険者証兼高齢受給者証を世帯単位で送付する。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	①従来の高齢受給者証を令和2年度から被保険者証と一体化し交付。 ②毎年8月1日に更新(有効期限1年)される世帯、また、年度途中からの加入世帯への被保険者証及び被保険者証兼高齢受給者証の対象世帯への交付。	項目	実績	単位
		国民健康保険被保険者証作成業務委託	3,261,280	円
事業の成果【定性的評価】	被保険者証及び被保険者証兼高齢受給者証を受け取った被保険者が、健康の回復・維持のため、必要に応じ、定められた負担割合で療養の給付等を受けることができた。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	被保険者証当初送付件数(世帯数)			指標・目標値の説明(算定式)	8月1日更新被保険者証及び被保険者証兼高齢受給者証交付世帯数				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
	実績値・達成状況	88,856 未達成		86,779 未達成		87,042 達成				
指標②	名称	高齢受給者証当初送付件数(世帯数)			指標・目標値の説明(算定式)	8月1日更新高齢受給者証交付世帯数(令和2年度からは指標①に統合)				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度
	実績値・達成状況	21,663 達成		21,663 未達成		-				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計										01款	01項	01目	002細目	01細々目	被保険者証発送事務費		
年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度									
予算額(A)	55,614		55,104		56,414		54,419		56,414									
決算額(B)=(C)+(D)	52,186		51,142		52,359													
財源※	特定財源(C)	9,871		0		0		0										
	一般財源(D)	42,315		51,142		52,359		54,419										
概算人件費(E)	67,940		67,940		67,940		67,940		67,940									
従事職員人数(人)	常勤	再任用	8.60	0.00	8.60	0.00	8.60	0.00	8.60	0.00	8.60	0.00	8.60	0.00				
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	120,126		119,082		120,299		122,359		124,354									

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	①令和2年度に懸案だった被保険者証と高齢受給者証との一体化を実施済み ②返戻被保険者証再送付に係る事務作業及び郵送料が発生しているため、返戻世帯のうち居所不明世帯の居住実態を把握する取組を拡充する。これにより不現住と認められた世帯の資格喪失処理を行い、次回の返戻数を減少させ再送付作業及び郵送料削減につなげる	3年度	効率化して実施
		4年度	効率化して実施
		5年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11300201	事業名称	国保給付事務費			事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-7670	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	保険給付に係る申請、支給等に関する事務を適正に実施することにより、国保給付事業を円滑に遂行する。	①各種申請書等の作成、郵送、受理及び審査 ②診療報酬明細書の点検 ③第三者行為損害賠償に係る共同事業 ④上記に係る臨時職員の雇用	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	①各種申請書等の作成、郵送、受理及び審査 ②診療報酬明細書の点検 ③第三者行為損害賠償に係る共同事業 ④上記に係る臨時職員の雇用	項目	実績 単位
事業の成果【定性的評価】	臨時職員の雇用による申請受理業務の処理時間の短縮、各種作成した申請書の使用による正確な申請受付など、事業の実施により国保給付事務が円滑に執行された。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	国保給付事務費総額			指標・目標値の説明(算定式)	報酬・職員手当等、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料の合計。			
	単位	円	指標の種別	活動		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実績値・達成状況	79,018,000	78,625,000	80,539,000	80,516,000					
実績値・達成状況	75,599,667	未達成	73,772,516	未達成	70,959,050	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	01款	01項	01目	002細目	02細々目	国保給付事務費			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	79,018	79,110	81,244	80,516	81,244					
決算額(B)=(C)+(D)	75,600	73,773	70,959							
財源※	特定財源(C)	13	13	0	0					
	一般財源(D)	75,587	73,760	70,959	80,516					
概算人件費(E)	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	83,500	81,673	78,859	88,416	89,144					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	給付事務を適正に執行するための費用という性質上、その支出は適正であることが前提であるため、常に精査しなければならない。一方で例えば高額療養費に関する事務では、申請書作成・送付・受理・審査・振込などに膨大な事務量が発生するため、省令に基づく事務の簡素化など業務効率化を図りつつ、会計年度任用職員増員も検討したい。	3年度 効率化して実施 4年度 効率化して実施 5年度 効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11300501	事業名称	賦課事務経費	事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-7669	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	地方税法、地方税法施行令、地方税法施行規則、川口市国民健康保険税条例、川口市国民健康保険税規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	川口市国民健康保険被保険者	同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	納税義務者に対象期間の保険税額を知らせ、全額を納付してもらうことにより、国民健康保険の安定的な運営を目指す。	被保険者がいる世帯の納税義務者に対して納税通知書を送付する。		
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	①継続して加入している被保険者がいる世帯の納税義務者(世帯主)へ当初納税通知書の送付。②年度途中からの加入者がいる世帯の納税義務者(世帯主)へ随時納税通知書の送付。③保険税額が変更となる場合、保険税の更正決定通知書の送付。	項目	実績	単位
		国民健康保険税納税通知書作成業務委託	11,775,295	円
事業の成果【定性的評価】	医療給付費等、国民健康保険制度の原資となる国民健康保険税の確実な収納に向け、賦課の決定理由、計算の根拠、保険税額及び個人明細、納付方法、納期等を納税通知書に明記し、納税義務者へ通知した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	当初納税通知書発送件数			指標・目標値の説明(算定式)	当初(7月)賦課時の納税義務者数				
	単位	世帯数	指標の種別	活動						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	92,719	未達成	90,154	達成	89,380	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別								
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	01款	02項	01目	001細目	01細々目	賦課事務経費			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	111,257	115,146	115,948	82,105	115,948					
決算額(B)=(C)+(D)	95,591	94,175	105,023							
財源※	特定財源(C)	1,657	98	10,011	97					
	一般財源(D)	93,934	94,077	95,012	82,008					
概算人件費(E)	82,081	82,081	82,081	82,081	82,081					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	10.39	0.00	10.39	0.00	10.39	0.00	10.39	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	177,672	176,256	187,104	164,186	198,029					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	①国民健康保険税の納付の利便性を高め、収納率向上に資するための口座振替率の更なる向上。②令和2年度に赤字解消された法定外繰入が、新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和3年度以降再び赤字となる見込みのため、その解消を段階的に図ることを目的とした国民健康保険税率等の見直し。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11300701	事業名称	国民健康保険運営協議会経費			事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-271-9326	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 26 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	国民健康保険法、国民健康保険法施行令、川口市国民健康保険条例、川口市国民健康保険条例施行規則

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議する。	1 一部負担金の負担割合に関すること。 2 保険税の税率に関すること。 3 保険給付の種類及び内容に関すること。 4 その他市長が国民健康保険事業の運営上重要なものと認めること。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	事業内容に記載のある事項等についての審議。 2年度は以下の日程で開催。 ・令和2年7月31日(金)・令和2年8月26日(水) ・令和2年11月10日(火)・令和3年2月24日(水)(書面開催)	項目	実績 単位
		川口市国民健康保険運営協議会開催数	4 回
事業の成果【定性的評価】	4回の会議により、国民健康保険事業の運営に関する重要事項が審議、決定された。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市国民健康保険運営協議会開催数			指標・目標値の説明(算定式)	年度内に川口市国民健康保険運営協議会を開催した回数				
	単位	回	指標の種別	活動						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	3	3	4						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	01款	03項	01目	001細目	01細々目	国民健康保険運営協議会経費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	831	828		823		817		823		
決算額(B)=(C)+(D)	470	475		578						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	470		578		817				
概算人件費(E)	2,370		2,370		2,370		2,370		2,370	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,840		2,845		2,948		3,187		3,193	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	協議会を構成する委員は、被保険者代表(市民)、国保医師薬剤師代表、公益代表となっており、各分野の意見収集が可能となっている。今後も、各委員に意見をいただきながら審議を行い、その時々に合わせて適正に会議を開催し、健全な国民健康保険事業の実施につなげていく。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11300801	事業名称	保健衛生普及事業			事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-7670	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	被保険者の健康意識の高揚や医療費の適正化につなげることで、国民健康保険の安定的な運営を目指す。	受診状況・医療費の金額を確認することができるよう、医療機関より請求されてきた受診内容(医療機関名称、医療費総額、自己負担額、日数等)の記載したハガキを、該当世帯に送付する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	医療機関より請求されてきた受診内容(医療機関名称、医療費総額、自己負担額、日数等)の記載したハガキを、該当世帯に送付する。	項目	実績 単位
		医療費通知発送件数	339,276 通
事業の成果【定性的評価】	医療機関への受診情報や被保険者数の増減の影響により変動はあるものの、一定期間内に医療機関に受診した者全員に対し通知を送付しており、健康意識の高揚や医療費の適正化につながっている。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	05款	01項	01目	001細目	01細々目	保健衛生普及事業			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	21,665	20,683	20,685	20,573	20,685					
決算額(B)=(C)+(D)	20,650	20,461	19,028							
財源※	特定財源(C)	20,650	0	0	0					
	一般財源(D)	0	20,461	19,028	20,573					
概算人件費(E)	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	28,550	28,361	26,928	28,473	28,585					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 /60	埼玉県国保団体連合会との共同事業として当該連合会医療費通知を作成しており、作成費用は埼玉県国保連合会が負担している。また、郵送費については一部調整交付金で補填されている。国からの補助金を受ける際の評価項目の一つとなっており、より効果的な医療費適正化推進のため、引き続き事業を実施していきたい。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11300901	事業名称	後発医薬品利用促進事業			事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-7670	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 24 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	処方される医薬品より安価後発品に切り替え、本人負担に一定の軽減効果が認められる場合、その差額を記載した通知を送付することで、本人の医療費の負担軽減を促進するとともに、国民健康保険の安定的な運営を目指すもの。	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回、埼玉県国保団体連合会と共同して後発医薬品利用差額通知を作成、送付する。 ・具体的には、一定の差額が生じるデータを抽出し、そのデータが印刷されたものの納品を受けた後、納品された通知を送付し、後発医薬品の利用を促進する。 	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	後発医薬品の利用を促進するため、埼玉県国保団体連合会で作成された後発医薬品差額通知を9月と3月にそれぞれ送付した。	項目	実績
事業の成果【定性的評価】	医療機関への受診状況や被保険者数の増減の影響により変動はあるが、後発医薬品差額通知の発送件数は減少傾向にあり、後発医薬品への切り替えが進んでいると考えられる。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	後発医薬品差額通知作成(発送)件数			指標・目標値の説明(算定式)	年度内に作成(発送)した後発医薬品差額通知の件数			
	単位	件	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	3,546	未達成	2,881	未達成	2,653	未達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計 05款 01項 01目 001細目 02細々目 後発医薬品利用促進事業									
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	704	689	695	738	695					
決算額(B)=(C)+(D)	409	337	332							
財源※	特定財源(C)	356	0	0						
	一般財源(D)	53	337	332	738					
概算人件費(E)	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,309	8,237	8,232	8,638	8,595					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	後発医薬品差額通知の発送件数が過去3年間で6,611件・3,546件・2,881件と減少傾向ではあるが、今後も継続した促進が必要と考える。埼玉県国民健康保険団体連合会の協力のもとで、より効果的な通知の作成・発送に取り組みたい。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11301001	事業名称	疾病予防事業			事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-7670	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 58 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	川口市国民健康保険被保険者の人間ドック検診料助成に関する要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部補助金・負担金		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	30歳以上の川口市国民健康保険被保険者	同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)			
	疾病を早期発見することにより、健康の保持増進を図る。	人間ドックの受診を勧め、疾病の早期発見及び生活習慣病の予防など健康の保持増進を図るため、検診料の一部を助成する。			
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績			
	疾病の早期発見及び生活習慣病の予防など健康の保持増進を図るため、川口市医師会と協定を結び、川口市医師会指定の医療機関において実施している人間ドックの受診を勧めるため、検診料の一部を助成。	項目	実績	単位	
事業の成果【定性的評価】	令和元年度の実施(助成)件数は、8,834件であった。件数としては、前年度と比較して減少しているが、被保険者数が減少傾向にあることから、受診率は微増である。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	人間ドック検診受診率			指標・目標値の説明(算定式)	受診件数/対象被保険者数×100					
	単位	%	指標の種別	結果							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況	8.53	未達成	8.54	未達成	6.34	未達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	05款	01項	02目	001細目	01細々目	疾病予防事業			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	259,474	261,180	240,885	236,731	240,885					
決算額(B)=(C)+(D)	214,347	210,074	153,865							
財源※	特定財源(C)	35,634	0	0	0					
	一般財源(D)	178,713	210,074	153,865	236,731					
概算人件費(E)	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	222,247	217,974	161,765	244,631	248,785					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	低かった	11 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
46 /60	受診率の向上のため、今後も広く周知を図って行きたい。また、川口市医師会と調整を行いながら、医療機関内での広報についても協力を求めている。	3年度	現状維持で実施
		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11301101	事業名称	特定健康診査事業費	事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-7916	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、川口市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画等

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	40歳以上の川口市国民健康保険被保険者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	若いうちから健康管理を行い、生活習慣病の発症や重症化を予防することにより、被保険者の生活の質を向上させ、医療費の適正化により医療保険の安定的な運営を目指す。	事業対象者に、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を安価で提供する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	川口市医師会と委託契約を結び、川口市医師会指定の医療機関において、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施し、実施医療機関に対して事業対象者の自己負担金を除いた委託料を支払う。	項目	実績 単位
		特定健康診査受診率	27.50 %
事業の成果【定性的評価】	特定健康診査受診率の向上により、より多くの被保険者の健康管理や生活習慣病の予防へとつながっている。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特定健康診査受診率			指標・目標値の説明(算定式)	受診者数/受診対象者数×100(令和元年度までの実績値は法定報告の数値)。平成30年度以降の目標値は第2期データヘルス計画に基づく。				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	35	未達成	35.20	未達成	27.50	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	05款	02項	01目	001細目	01細々目	特定健康診査事業費			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	331,156	382,231	323,135	408,667	323,135					
決算額(B)=(C)+(D)	283,369	356,974	288,502							
財源※	特定財源(C)	126,296	128,199	129,466	181,397					
	一般財源(D)	157,073	228,775	159,036	227,270					
概算人件費(E)	8,058	8,058	8,058	17,380	17,380					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.02	0.00	1.02	0.00	2.20	0.00	2.20	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	291,427	365,032	296,560	426,047	340,515					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
54 /60	国が定める特定健康診査等基本指針において、令和5年度までの目標値として特定健康診査実施率60%と定められているが、目標値には達していないのが現状である。今後は適宜内容を見直すとともに、令和3年度から特定健康診査の受診者自己負担金を無料とすることで、受診率の更なる向上を目指す。	3年度 拡充して実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11301201	事業名称	特定保健指導事業費	事業区分	通常事業
担当	保健部	国民健康保険課	問い合わせ先	048-259-7916	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、川口市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 40歳以上の川口市国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査の受診結果により生活習慣病発症のリスクが高いと判断された被保険者。	受益者(最終的に受益を受ける人)	同左
事業の概要	事業の目的(何のために) 対象者が特定保健指導を含む各種保健指導を受けることで、自らの生活改善を行い生活習慣病の発症や重症化を防ぐ。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	①肥満を起因とする生活習慣病予防の特定保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防対策事業 ③循環器疾患(虚血性心疾患・脳血管疾患)の重症化を目的とした保健指導
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ①9月から5月にかけて特定保健指導を行い、委託業者が市内公共施設等で個別に面接。②8月から2月にかけて糖尿病性腎症重症化予防対策事業を行い、委託業者が個別に指導。③健診受診後、検査数値によって生活改善の通知や医療機関受診を促す通知を送付し保健指導を行った。	主な実績	項目 実績 単位 特定保健指導受診率 15.6 %
事業の成果【定性的評価】	特定保健指導の利用率の向上により、対象者の生活習慣が改善され、生活習慣病の発症の抑制につながっている。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特定保健指導利用率			指標・目標値の説明(算定式)	利用者数/対象者数×100(令和元年度までの実績値は法定報告の数値)。平成30年度以降の目標値は第2期データヘルス計画に基づく。				
	単位	%	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	15	22	30	40	40				
	実績値・達成状況	17.70 達成	17.7 未達成	15.6 未達成						
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	国民健康保険事業特別会計	05款	02項	01目	002細目	01細々目	特定保健指導事業費			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
予算額(A)	21,661	21,465	27,699	38,218	27,699					
決算額(B)=(C)+(D)	17,847	18,754	19,234							
財源※	特定財源(C)	14,788	2,203	2,712	5,387					
	一般財源(D)	3,059	16,551	16,522	32,831					
概算人件費(E)	7,110	7,110	7,110	15,800	15,800					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.90	0.00	0.90	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	24,957	25,864	26,344	54,018	43,499					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 /60	利用率は上昇傾向にあるが、さらに支援内容の充実と未利用者への勧奨を強化するため、効果の見える保健指導を行うことができるような委託業者を活用することが課題である。令和元年度から公募型プロポーザル方式で業者選定を行っており、引き続き指導力のある業者を選定していく。	3年度 現状維持で実施 4年度 現状維持で実施 5年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11301301	事業名称	健康診査事業			事業区分	通常事業
担当	保健部	高齢者保険事業室	問い合わせ先	048-259-7653	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” — 1 健康を育むまちづくり — ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、埼玉県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	後期高齢者医療被保険者(75歳以上のかた及び65歳以上74歳以下の一定の障害があるかたで埼玉県後期高齢者医療広域連合の認定を受けたかた)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	適切な健康管理、生活習慣病の発症や重症化を予防することにより、被保険者の生活の質を向上し、医療費の適正化により医療保険の健全な運営を目指すもの。なお、本事業は埼玉県後期高齢者医療広域連合からの受託事業である。	一般社団法人川口市医師会と委託契約し、その会員である医療機関において、メタボリックシンドロームに重点をおいた内容の健診を実施する。受診者の自己負担は0円で、市が健診(検診)費用を川口市医師会に支出する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	一般社団法人川口市医師会と委託契約し、その会員である医療機関において、メタボリックシンドロームに重点をおいた内容の健診を実施する。また、フレイル状態にある被保険者のデータ取得のために、質問票の内容を変更した。	項目	実績
事業の成果【定性的評価】	受診者は健康状態を把握することができ、生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療に結びつけることができた。また、健康管理に対する意識の向上が図られた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	健康診査助成者数		指標・目標値の説明(算定式)	過去の受診実績を踏まえ設定した。				
	単位	人	指標の種類		結果				
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況	11,317	未達成	11,976	未達成	12,530	未達成		
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種類						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	後期高齢者医療事業特別会計	01款	01項	01目	002細目	01細々目	健康診査事業			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	140,743	159,729		168,290		190,537		190,571		
決算額(B)=(C)+(D)	137,088	149,148		164,006						
財源※	特定財源(C)	93,330		101,535		122,406		146,874		
	一般財源(D)	43,758		47,613		41,600		43,663		
概算人件費(E)	2,370		2,370		2,370		2,370		2,370	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	139,458		151,518		166,376		192,907		192,941	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11	公平性	受益者の資格条件	適正	13
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52	受診者数の増加と重複受診が課題であり、自己負担金額が0円になったことのアナウンスを強化し、健康診査を推奨する。	3年度	現状維持で実施
/60		4年度	現状維持で実施
		5年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11301401	事業名称	人間ドック検診料助成事業	事業区分	通常事業
担当	保健部	高齢者保険事業室	問い合わせ先	048-259-7653	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、川口市後期高齢者医療被保険者人間ドック検診料助成に関する要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 後期高齢者医療被保険者(75歳以上のかた及び65歳以上74歳以下の一定の障害があるかたで埼玉県後期高齢者医療広域連合の認定を受けたかた)	受益者(最終的に受益を受ける人) 同左	
事業の概要	事業の目的(何のために) 被保険者が人間ドックを受診するにあたり、その検診料の一部を助成することにより人間ドックの普及を図り、疾病の早期発見および健康の保持増進に資すること。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 人間ドックの普及を図り、疾病の早期発見および健康の保持増進を図るため、人間ドック検診料の一部の助成を行う。被保険者に人間ドック受診の勧奨を行う。受診者の自己負担は6,600円で、受診費用との差額は、市が川口市医師会に支出する。	
令和2年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 人間ドックの受診者に対して、検診料の一部を助成した。 ①検診単価 31,636円 ②自己負担額 6,600円 ③助成額(①-②) 25,036円	主な実績 項目 実績 単位	
事業の成果【定性的評価】	受診者は健康状態を把握することができ、生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療に結びつけることができた。また、コロナ禍においてもなお、ある一定数の受診者がいたことから、健康管理に対する意識の向上が見受けられた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	人間ドック検診助成者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の受診実績を踏まえ設定した。				
	単位	人	指標の種別	結果		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値					4,800	5,500	5,550	6,000	
	実績値・達成状況	4,820	達成	5,154	未達成	3,903	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	後期高齢者医療事業特別会計	01款	01項	01目	002細目	02細々目	人間ドック検診料助成事業				
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度				
予算額(A)	119,128	138,627		140,531		152,300	152,300				
決算額(B)=(C)+(D)	115,419	125,895		95,641							
財源※	特定財源(C)	88,598	94,955		82,058		84,000				
	一般財源(D)	26,821	30,940		13,583		68,300				
概算人件費(E)	2,370	2,370		2,370		2,370	2,370				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	117,789	128,265		98,011		154,670	154,670				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
48 /60	生活習慣病の予防や疾病の早期発見・早期治療のために、健康管理システムをより活用していく。また、埼玉県後期高齢者医療広域連合の補助金交付対象事業であるため、他の健康診査との重複受診防止に努める。	3年度	現状維持で実施	
		4年度	現状維持で実施	
		5年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和2年度

事業コード	11301501	事業名称	後期高齢者医療保険料徴収関係経費	事業区分	通常事業
担当	保健部	高齢者保険事業室	問い合わせ先	048-259-7653	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 20 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち” - 1 健康を育むまちづくり - ③ 医療保険制度の充実
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第104条~115条

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	後期高齢者医療被保険者(75歳以上のかた及び65歳以上74歳以下の一定の障害があるかたで埼玉県後期高齢者医療広域連合の認定を受けたかた)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	後期高齢者医療制度の安定的な財源の確保	後期高齢医療保険料の収納、滞納整理に関する業務 保険料賦課額の通知 保険料の収納 督促状・催告書の送付 滞納保険料がある者に対する滞納処分や執行停止	
令和2年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績	
	窓口納付・口座振替開始通知・年金天引き切替 督促状・催告書の送付 電話催告 分納誓約締結・差押(3月予定)・執行停止 還付処理	項目	実績 単位
		口座振替開始通知	2,979 人
		督促状・催告書送付	17,582 人
		差押	643,400 円
事業の成果 【定性的評価】	3 事業活動・成果の状況については、年度途中(1月末の数値)なので評価できない。次回、更正時に入力する		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	現年度分収納率			指標・目標値の説明(算定式)	現年度分収納率98.77%を目標とする				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	99.20	99.20	99.20	98.77	98.87				
	実績値	98.38	未達成	98.48	達成	98.68	未達成			
指標②	名称	滞納繰越分収納率			指標・目標値の説明(算定式)	滞納繰越分収納率31.52%を目標とする				
	単位	%	指標の種別	成果						
	目標値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
	実績値・達成状況	33.30	33.30	33.30	33.24	33.28				
	実績値	28.27	未達成	30.64	未達成	33.20	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	後期高齢者医療事業特別会計	01款	02項	01目	001細目	01細々目	後期高齢者医療保険料徴収関係経費			
年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
予算額(A)	39,685	32,836		145,822		33,503		33,498		
決算額(B)=(C)+(D)	38,166	31,686		143,589						
財源※	特定財源(C)	0		529		0				
	一般財源(D)	38,166		31,686		143,060		33,503		
概算人件費(E)	15,800		15,800		15,800		15,800		15,800	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	53,966		47,486		159,389		49,303		49,298	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	賦課業務を適正に行い、保険料の収納率を向上させる必要がある。 保険料の収納率向上は制度の安定的な財政運営を確保するうえで極めて重要であり、普通徴収及び滞納繰越の更なる収納率向上が課題である。	3年度	効率化して実施
		4年度	効率化して実施
		5年度	効率化して実施